

報告・協議2

令和2年度広島県公立高等学校入学者選抜一般学力検査
の結果について

このことについて、別紙のとおり報告します。

令和2年6月12日

広島県教育委員会教育長 平川 理恵

令和2年度広島県公立高等学校入学者選抜

一般学力検査の結果

広島県教育委員会

目 次

I	一般学力検査結果の概要	1
1	出題について	1
2	検査結果の概要について	1
II	各教科の出題のねらい，正答率及び指導のポイント	5
	国語	5
	社会	8
	数学	12
	理科	15
	英語	19
III	令和2年度学力検査問題，採点基準	22

○ 検査問題には，著作権等に関わる内容が含まれているので，校内の研修に用いるなど，本冊子の趣旨の範囲内で使用すること。

○ 著作権等に係る出典名等は次のとおり。

- 国語 二 原田マハ 「いちまいの絵」(集英社)
- 二 岡田温司 「ジョルジョ・モランディ 人と芸術」(平凡社)
- 三 大島建彦 「御伽草子集」(小学館)

社会³ 『朝日新聞』2019. 5. 22

I 一般学力検査結果の概要

令和2年3月5日（木）・6日（金）に実施した令和2年度広島県公立高等学校入学者選抜における一般学力検査について、その概要を取りまとめたので、今後の学習指導の参考としてください。

1 出題について

一般学力検査問題の出題に当たっては、中学校学習指導要領に示された各教科の目標に基づき、分野・領域のバランスに留意するとともに、基礎的・基本的な内容を中心に
出題した。また、総合問題や記述問題などを取り入れることによって、思考力・判断力・表現力などをみるよう配慮した。

出題の大問数等については、次のとおりである。なお、英語においては、例年どおり
実音聴取による問題を出題した。

各教科における設問数

内容	国語	社会	数学	理科	英語	合計
大問数	4	4	6	4	4	22
設問数	21	24	18	30	25	118
選択問題	5	4	2	10	13	34
記述問題等	16	20	16	20	12	84

* 記述問題等には、漢字の書き取りや選択した理由を併せて記述する設問を含めている。

2 検査結果の概要について

各教科の平均点、標準偏差及び得点分布については、次のとおりであった。

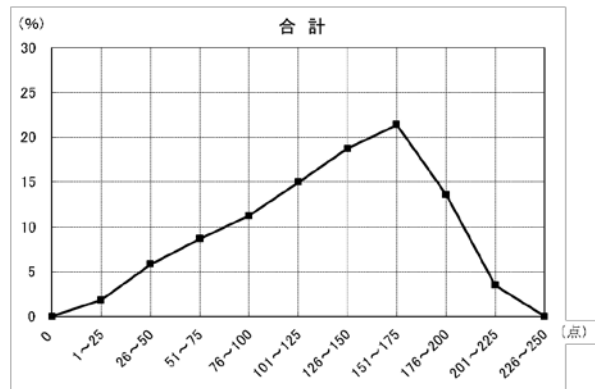
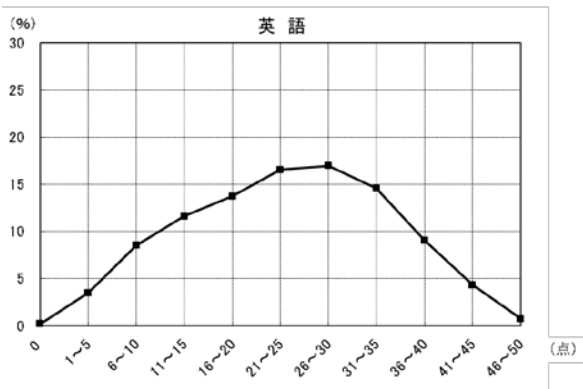
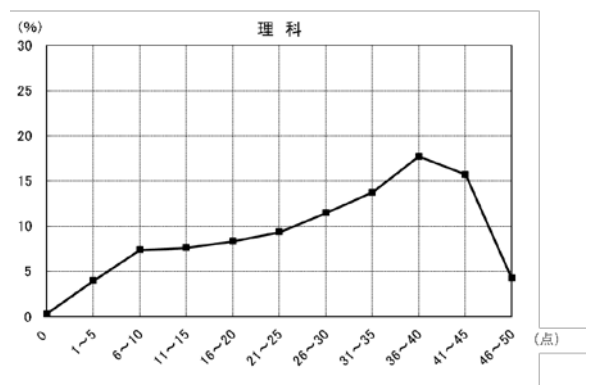
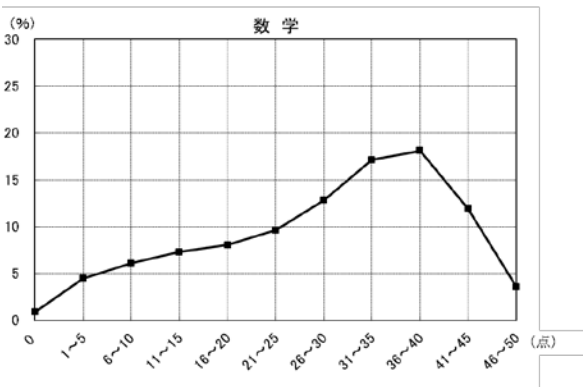
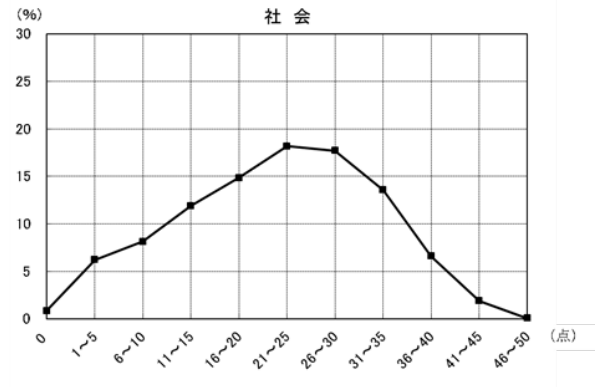
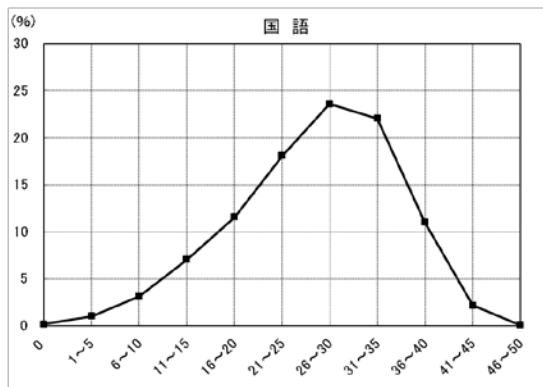
各教科（50点満点）の平均点

教科	国語	社会	数学	理科	英語	5教科平均
令和2年度	26.5	22.0	28.2	28.6	23.9	25.8
平成31年度	23.6	21.6	21.0	23.3	21.3	22.2

各教科（50点満点）の標準偏差

教科	国語	社会	数学	理科	英語
令和2年度	8.4	10.1	12.2	12.5	10.4
平成31年度	8.6	10.4	10.9	11.4	11.0

(各教科の得点分布)



5教科合計の平均点は昨年と比べて上昇した。得点分布の状況を示すグラフの全体の形はやや右寄りの山形で、30%以下の得点層に属する受検者は少ない。

各教科の得点分布を比較すると、国語では全体の形はやや右寄りではあるが、中央が高くなった山形となっており、応用的な問題に十分に対応できていない受検者が多いと考えられる。社会及び英語では、なだらかな山形となっており、基礎的・基本的な学習内容の定着が不十分な受検者が多くいると考えられる。数学及び理科では全体の形が右寄りの山形になっており、基礎的・基本的な学習内容が定着している受検者

が多くいると考えられる。

教科別にみると、国語については、昨年と比べて平均点は上昇し、60%を超える得点層に属する受検者が増加した。一方、30%以下の得点層に属する受検者は減少したものの、全体の11.4%と少なくない。今後学習を進めていく上での基盤となる「漢字の読み」と「漢字の書き取り」についての正答率はそれぞれ94.9%、85.0%と高い。また、分野・領域別にみると、文学的な文章についての正答率が低い傾向がみられる。特に、論の展開に即して要旨を的確に捉え、それを適切に表現する力に課題があると考えられる。

社会については、昨年と比べて平均点はやや上昇した。30%以下の得点層に属する受検者は全体の27.1%と多かった。分野・領域別にみると、歴史についての正答率が低い傾向がみられる。また、地理的事象について、地図・資料を読み取って考察し、それを表現する力に課題があると考えられる。

数学については、昨年と比べて平均点は上昇し、60%を越える得点層に属する受検者が大幅に増加した。一方、30%以下の得点層に属する受検者は大幅に減少したものの、全体の18.8%と少なくない。今後学習を進めていく上での基盤となる「簡単な数・式の計算」については正答率の平均は80.9%と高いものの、数の性質を発展させ、新たな性質を見いだす力には課題があると考えられる。また、分野・領域別にみると、関数についての正答率が低い傾向がみられる。

理科については、昨年と比べて平均点は上昇し、60%を越える得点層に属する受検者が大幅に増加した。一方、30%以下の得点層に属する受検者は減少したものの、全体の19.3%と少なくない。また、分野・領域別にみると、物理についての正答率が低い傾向がみられる。特に、運動している物体に働く力について、摩擦力や慣性の法則を基に考察する力に課題があると考えられる。

英語については、昨年と比べて平均点は上昇した。30%以下の得点層に属する受検者は減少したものの、全体の23.9%と多かった。分野・領域別にみると、日常生活の場面において、表現内容を工夫してコミュニケーションを行うことについて正答率が低い傾向がみられる。また、文章の概要や要点を理解し、質問に対する自分の考えが読み手に正しく伝わるように英文を書く力に課題があると考えられる。

5教科に共通した課題としては、日常生活などを想定した課題解決の場面で、資料等から読み取った情報を、既習の知識や学習内容等と関連付けて考察し、自分の考えをもったり判断をしたりして、その過程や結果を表現することが十分にできていない点が挙げられる。

この点を改善するためには、まず、日常生活や自然・社会における事象の考察、また、コミュニケーションの場面などにおいて、目的や状況等に応じて判断したり表現したりするのに適当な課題を設定することが重要である。そして、その課題を解決す

る過程において、精査した情報を基に自分の考えを形成して文章や発話によって表現し、さらに、お互いの考えを適切に伝え合って多様な考えを理解したり、集団としての考えを形成したりして、自分の考えを広げたり深めたりすることが重要である。この学習指導を行う際に大切なのは、それぞれの教科の特質に応じた見方・考え方を働かせて思考・判断させていくことである。新学習指導要領を見据える広島版「学びの変革」アクション・プランにおける「主体的な学び」が目指すのは、各教科等の内容についての本質的な理解である。そのためには、習得・活用・探究の過程の中で、各教科における見方・考え方を働かせる学びを設定するとともに、教科等横断的な視点を取り入れた指導を行うことで、深い学びにつなげていくことが重要である。

また、高等学校においても、各教科・科目の系統性を理解した上で、義務教育段階の指導状況や生徒の発達段階、生徒の言語能力を踏まえ、授業の構成や指導の在り方を工夫・改善していく必要がある。

Ⅱ 各教科の出題のねらい及び正答率と指導のポイント

国 語

1 出題のねらい及び正答率

現代文（文学的な文章，説明的な文章），古典及び様々な形態の文章によって，平素の学習で身に付けた基礎的・基本的な表現力や理解力，また思考力や想像力などをみるように努めた。

各問題のねらい（以下，（ ）内のパーセントは正答率を示す。）

一は，文学的な文章について，想像力などを働かせて，場面や人物の心情などを的確に捉え，またそれを適切に表現するなどの力をみる問題である。

- 1 漢字を正しく書くことができる。（① 74.3%，② 91.1%，③ 89.6%）
- 2 文脈に即して人物の心情を的確に捉え，それを適切に表現することができる。（32.0%）
- 3 文脈に即して場面を的確に捉え，それを適切に表現することができる。（24.0%）
- 4 描写を踏まえて人物像を捉え，それを適切に表現することができる。（25.2%）
- 5 話の展開に即して，語句や描写の意味を的確に捉えるとともに，人物の言動の意味を的確に捉え，それを適切に表現することができる。（（1） 53.4%，（2） 3.3%）

二は，説明的な文章について，思考力などを働かせて，文章の論理的な構成や展開などを的確に捉え，またそれを適切に表現するなどの力をみる問題である。

- 1 漢字を正しく読むことができる。（① 96.0%，② 90.4%，③ 98.3%）
- 2 論の展開に即して内容を的確に捉え，それを適切に表現することができる。（18.9%）
- 3 熟語の構成について理解している。（77.1%）
- 4 接続の言葉の働きについて理解している。（84.8%）
- 5 論の展開に即して要旨を的確に捉え，それを適切に表現することができる。（3.2%）

三は、古典について、基礎的事項の理解、文章の内容などを的確に捉え、またそれを適切に表現する力をみる問題である。

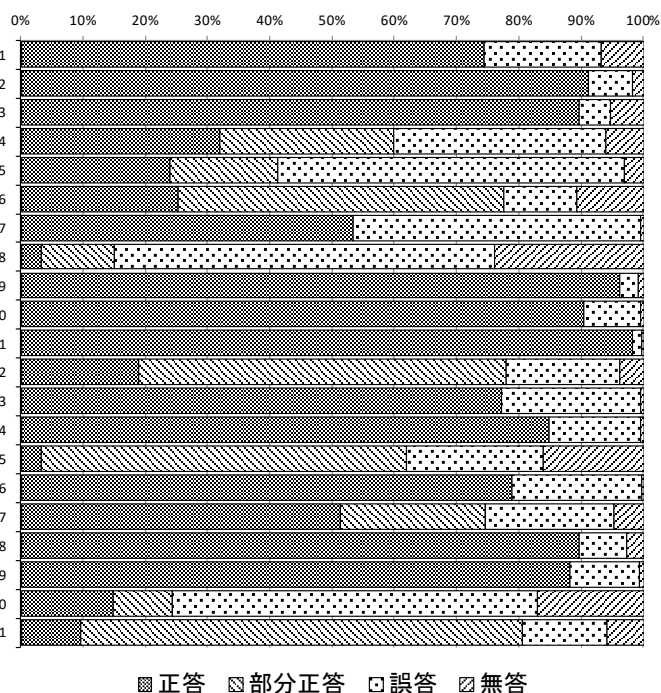
- 1 文章の展開に即して内容を的確に捉えることができる。(78.7%)
- 2 文脈に即して内容を的確に捉え、それを適切に表現することができる。(51.3%)
- 3 歴史的仮名遣いについて理解している。(89.6%)
- 4 目的に応じて文章の内容を的確に捉えるとともに、文章に表れているものの見方や考え方を的確に捉え、それを適切に表現することができる。(I 88.2%, II 14.7%)

四は、様々な形態の文章について、思考力や想像力などを働かせて、自分の考えをまとめ、またそれを適切に表現するなどの力をみる問題である。

目的に応じて文章を読み、根拠を明確にして自分の考えをまとめて文章を構成し、それを適切に表現することができる。(9.6%)

※正答率詳細

国語		1	2	3	4		
問題番号		正答	部分正答	誤答	無答		
一	1	①	74.3	0.0	19.0	6.8	
		②	91.1	0.0	7.1	1.8	
		③	89.6	0.0	5.1	5.3	
	2	32.0	27.9	33.9	6.2		
	3	24.0	17.3	55.6	3.1		
	4	25.2	52.3	11.7	10.8		
	5	(1)	53.4	0.0	46.1	0.5	
		(2)	3.3	11.7	61.0	24.0	
	二	1	①	96.0	0.0	3.1	0.8
			②	90.4	0.0	9.0	0.6
③			98.3	0.0	1.5	0.2	
2		18.9	59.0	18.4	3.8		
3		77.1	0.0	22.4	0.5		
4		84.8	0.0	14.6	0.6		
三	1	3.2	58.6	22.1	16.1		
	1	78.7	0.0	20.8	0.4		
	2	51.3	23.2	20.6	4.9		
	3	89.6	0.0	7.7	2.7		
	4	I	88.2	0.0	11.0	0.7	
II		14.7	9.6	58.6	17.1		
四	9.6	71.0	13.6	5.8			



2 指導のポイント

定着に課題がみられた二の5の「論の展開に即して要旨を的確に捉え、それを適切に表現する問題」では、論の展開に即して要旨を的確に捉え、捉えた要旨と資料の内

容とを関連付けて適切に表現する力が求められる。そうした力を育成するための学習指導として、例えば、次のようなことが考えられる。

- ① 説明的な文章を扱う教材において「根拠を具体的に挙げながら、書き手の意図を検討する」という言語活動を設定し、教科書内に取り上げられている説明的な文章を読ませ、書き手の意図を読み取る上で重要なポイントとなる表現に注目させる。
- ② ①で読ませた説明的な文章に関連する他の文章や図表などを、資料として生徒に提示する。資料を準備する際には、教科書内に取り上げられている説明的な文章と同じ視点のものだけでなく、視点を変えて書かれているものや、書き手とは異なる考えのものなど、多様なものを用意する。
- ③ 説明的な文章の内容と②で提示した資料の内容を基に、①で注目させた表現について、まとめた文章を生徒に提示する。その際、説明的な文章の要旨と資料の内容を踏まえて解釈し、関連付けてまとめたものと、要旨と資料の内容の関連付けが不十分なものと、要旨と資料の関連付けが全くできていないものの三種類を用意する。
- ④ ③で提示したものについて、三種類の中のどれが最も書き手の意図が伝わるように、説明的な文章の要旨と資料の内容との関連付けができているかを三段階で評価させ、評価の根拠を分析させる。個人で分析したものをグループで共有し、さらに分析を重ねていく。グループでの評価と評価の根拠を指導者が集約する。
- ⑤ ④で集約した各グループの評価と評価の根拠とを提示し、評価の根拠として挙げられている内容と自分のグループの分析結果とを見比べ、気付いたことを挙げさせていく。
- ⑥ ⑤の活動で挙げられた気づきを参考に、自分の意見を複数の資料の内容と関連付けてまとめる際の留意点を発表させ、学級内で確認する。

指導に際しては、②から⑥の活動で生徒の思考を深めるためにICT機器を活用すると効果的であると考えられる。また、⑥の活動では、⑤の活動で行った分析を基に、自分が意見をまとめる際には、どのように自分の意見と資料とを関連付けたら相手に適切に伝わるかを意識させることに留意する。

このような学習指導を行うことで、論の展開に即して要旨を的確に捉え、捉えた要旨と資料の内容とを関連付けて適切に表現する力を育成することができると考えられる。

社 会

1 出題のねらい及び正答率

地理的分野，歴史的分野及び公民的分野の3分野にわたって，基礎的・基本的な知識・理解，各種の資料を活用して考察し判断する能力及び考察した過程や結果を表現する能力をみるように努めた。

各問題のねらい（以下，（ ）内のパーセントは正答率を示す。）

1 地理的分野

茶の生産を素材として取り上げ，地理的事象に関する基礎的・基本的な知識・理解，地図・資料を読み取って考察し判断する能力及び表現する能力をみる問題である。

- 1 シラス台地について理解している。（67.8%）
- 2 農産物の生産における機械化の一般的共通性について理解している。また，農産物の生産における機械化の地方的特殊性について，地形図を読み取って考察し，それを表現することができる。（（1） 65.5%，（2） 21.0%）
- 3 茶の主な生産地付近の都市について，それらの地球上における位置や気候を地図・資料を読み取って考察し判断することができる。また，二つの都市の年平均気温について，標高に伴う気温の変化と関連付けて考察し，それを表現することができる。（（1） 35.4%，（2） 26.1%）
- 4 ケニアの茶の消費量が，その生産量に対して少ない理由について，ケニアの経済の特徴と関連付けて考察し，それを表現することができる。（31.7%）

2 歴史的分野

税と政治とのかかわりを素材として取り上げ，日本の政治史・外交史・社会史・経済史上の諸事象に関する基礎的・基本的な知識・理解，資料を読み取って考察する能力及び表現する能力をみる問題である。

- 1 口分田について理解している。また，防人が九州に置かれた理由について，資料を読み取って考察し，それを表現することができる。（（1） 77.6%，（2） 50.9%）
- 2 土一揆について理解している。（22.3%）
- 3 株仲間について，幕府と商工業者のそれぞれの立場の利点を理解している。（A 25.4%，B 12.5%）

- 4 第15回と第16回のそれぞれの衆議院議員総選挙において選挙権が与えられた資格の違いについて、資料を読み取って考察し、それを表現することができる。(10.1%)
- 5 消費税が導入された理由について、資料を読み取って考察し、それを表現することができる。(24.9%)

3 公民的分野

裁判と国民とのかかわりを素材として取り上げ、社会的事象に関する基礎的・基本的な知識・理解、資料を読み取って考察する能力及び表現する能力をみる問題である。

- 1 裁判官の独立について理解している。また、三審制がとられている理由について理解している。((1) a 33.9%, b 43.9%, (2) 56.3%)
- 2 日本国憲法に基づき保障されている被疑者・被告人の権利について理解している。(22.4%)
- 3 裁判員制度導入の成果について、資料を読み取って考察し、それを表現することができる。また、裁判員制度の課題を解決するための提案について、資料を関連付けて考察し、それを表現することができる。((1) 記号 78.8%, 内容 38.9%, (2) 39.3%)

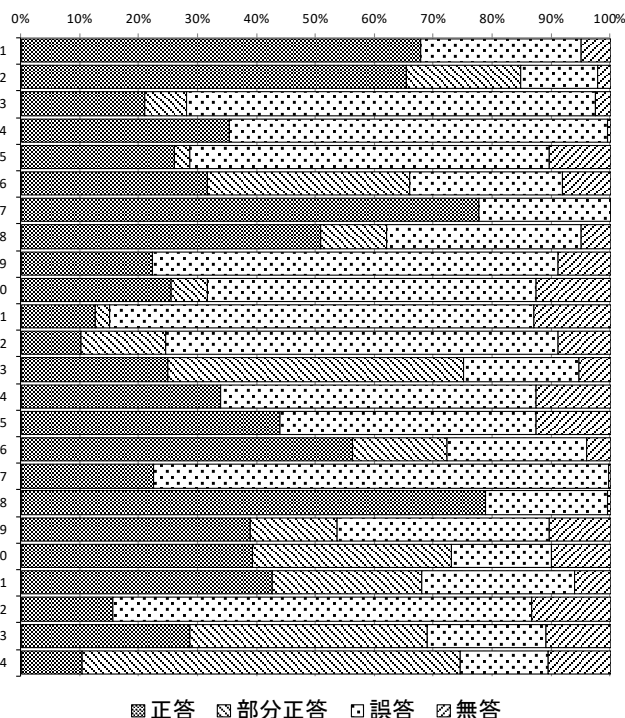
4 総合分野

地方公共団体の活性化を素材として取り上げ、地理的・歴史的・社会的事象についての総合的な理解、資料を読み取って考察する能力及び表現する能力をみる問題である。

- 1 昼夜間人口に差が生じる理由について理解している。(42.6%)
- 2 飛脚について理解している。また、中山道などに置かれた宿場が参勤交代によって経済的に発展した理由について、資料を読み取って考察し、それを表現することができる。((1) 15.6%, (2) 28.7%)
- 3 中津川市を活性化するための提案について、資料を関連付けて考察し、それを表現することができる。(10.3%)

※正答率詳細

社会		1	2	3	4	
問題番号		正答	部分正答	誤答	無答	
1	1	67.8	0.0	27.3	4.9	
	2	(1)	65.5	19.4	12.9	2.2
		(2)	21.0	7.0	69.5	2.5
	3	(1)	35.4	0.0	64.0	0.6
		(2)	26.1	2.6	60.9	10.4
4	31.7	34.3	25.9	8.2		
2	1	(1)	77.6	0.0	22.2	0.2
		(2)	50.9	11.1	33.1	4.9
	2	22.3	0.0	68.8	8.8	
	3	A	25.4	6.3	55.6	12.7
		B	12.5	2.6	72.0	12.9
4	10.1	14.4	66.4	9.0		
3	1	(1) a	33.9	0.0	53.4	12.7
		(1) b	43.9	0.0	43.6	12.5
	(2)	56.3	15.9	23.7	4.1	
	2	22.4	0.0	77.1	0.4	
	3	(1) 記号	78.8	0.0	20.7	0.5
(1) 内容		38.9	14.7	36.0	10.4	
(2)	39.3	33.6	17.0	10.1		
4	1	42.6	25.3	26.0	6.1	
	2	(1)	15.6	0.0	71.1	13.4
		(2)	28.7	40.1	20.2	11.0
3	10.3	64.2	14.9	10.6		



2 指導のポイント

定着に課題がみられた¹2 (2) では、地理的事象について、地図・資料を読み取って考察し、それを表現する力が求められる。そうした力を育成するために、例えば、「日本の各地域における特色を農業の比較から考える」というテーマで課題を設定し、追究させる次のような学習指導が考えられる。

- ① 日本の各地域で行われている様々な農業について、大規模農業を視点として比較し、各地域の特色を追究する学習を班に分かれて行わせる。ある班では、茶の県別生産量の割合を示すグラフを基に、1位の静岡県と2位の鹿児島県を取り上げ、「二つの県の茶の生産における機械化にはどのような特色があるのか。」と課題を設定し、機械化の現状に着目して資料を収集する。
- ② 収集した静岡県と鹿児島県の茶の栽培面積や茶の収穫用の乗用大型機械の導入面積のデータを表にまとめ、そのデータから機械化の現状を比較する。2位である鹿児島県の乗用大型機械の導入面積の割合が9割を超えているのに対して、1位の静岡県の割合は6割に満たないことに疑問をもち、「静岡県が鹿児島県よりも乗用大型機械による機械化が進んでいないのはなぜだろう。」という問いを見いださせる。
- ③ この問いに対して、日本の稲作の機械化や、アメリカなどの大型機械による大

規模農業といった既習知識から、「茶畑の地形の違いが乗用大型機械の導入面積の割合に影響しているのではないか。」と予想させ、茶畑の地形に着目して目的意識をもって地形図を読み取らせる。

- ④ このように地形図を読み取らせることにより、「鹿児島県よりも静岡県の茶畑の方が、主に急な斜面に分布しているので、乗用大型機械の導入は難しいのではないか。」と根拠を示しながら説明させ、学級全体で共有する。

このように、課題を設定して追究する学習を行うことで、地理的事象について、地図・資料を読み取って考察し、それを表現する力の育成を図ることができる考える。

数 学

1 出題のねらい及び正答率

数と式，図形，関数及び資料の活用の各領域において，基礎的・基本的な知識・技能，数学的な思考力・判断力・表現力をみるように努めた。

各問題のねらい（以下，（ ）内のパーセントは正答率を示す。）

1 数と式や図形，関数，確率について，基礎的・基本的な知識・技能をみる問題である。

- (1) 正の数と負の数の四則計算をすることができる。(92.3%)
- (2) 文字を用いた式の四則計算をすることができる。(87.5%)
- (3) 因数分解をすることができる。(85.4%)
- (4) 平方根を含む式の計算をすることができる。(66.4%)
- (5) 二次方程式を解くことができる。(72.9%)
- (6) 与えられた投影図を基に，展開図を選ぶことができる。(89.9%)
- (7) 式における比例定数の意味を理解している。(57.1%)
- (8) 与えられた条件を満たす確率を求めることができる。(74.7%)

2 数と式や図形，統計について，数学的な思考力・表現力をみる問題である。

- (1) 与えられた標本調査の方法を基に，見出し語の総数を推測することができる。(70.6%)
- (2) 与えられた条件を満たす線分を答えることができる。(53.2%)
- (3) 方程式を用いて与えられた条件を満たす値を求めることができる。(39.8%)

3 統計について，日常生活の中で問題を解決する場面での基礎的・基本的な知識・技能及び数学的な判断力をみる問題である。

- (1) 与えられた資料を基に，最頻値を求めることができる。(62.7%)
- (2) 人気アトラクションの待ち時間が短くなりそうな曜日がどちらかを，相対度数を用いて判断することができる。(30.1%)

4 数と式について，数学的な思考力・表現力をみる問題である。

- (1) 事柄が成り立つ理由を，文字式を利用して説明することができる。(46.7%)
- (2) 数の性質を発展させ，新たな性質を見いだすことができる。(30.7%)

5 図形について、数学的な思考力・表現力をみる問題である。

与えられた条件に基づいて図形を考察し、2つの図形が合同であることを証明することができる。(14.2%)

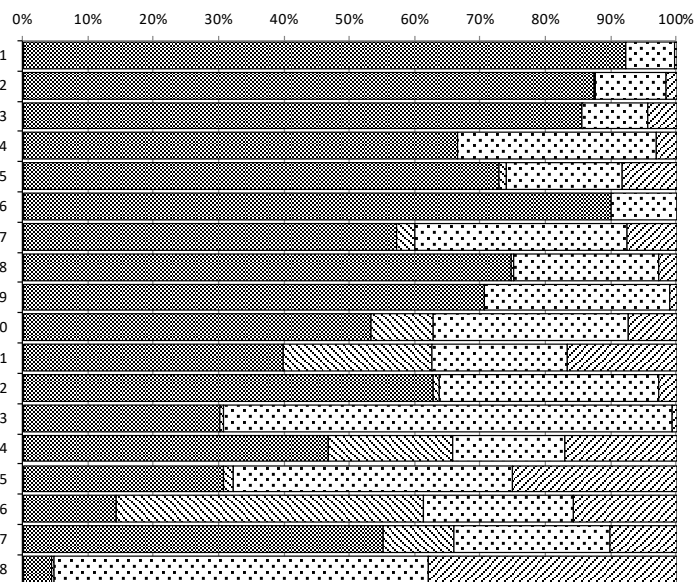
6 図形や関数について、基礎的・基本的な知識・技能及び数学的な思考力をみる問題である。

(1) 与えられた条件を満たす図形の面積を求めることができる。(55.2%)

(2) 与えられた条件に基づいて関数のグラフを考察し、直線の傾きを求めることができる。(4.4%)

※ 正答率詳細

数学		1	2	3	4
	問題番号	正答	部分正答	誤答	無答
1	(1)	92.3	0.0	7.4	0.3
	(2)	87.5	0.2	10.8	1.6
	(3)	85.4	0.1	10.1	4.4
	(4)	66.4	0.0	30.4	3.1
	(5)	72.9	1.1	17.6	8.4
	(6)	89.9	0.0	10.0	0.1
	(7)	57.1	2.8	32.5	7.6
	(8)	74.7	0.4	22.2	2.7
2	(1)	70.6	0.0	28.4	1.0
	(2)	53.2	9.7	29.8	7.4
	(3)	39.8	22.8	20.7	16.7
3	(1)	62.7	0.9	33.6	2.8
	(2)	30.1	0.5	68.7	0.7
4	(1)	46.7	19.0	17.2	17.1
	(2)	30.7	1.5	42.7	25.1
5		14.2	47.0	23.0	15.7
6	(1)	55.2	10.8	23.7	10.3
	(2)	4.4	0.4	57.3	37.9



■ 正答 ■ 部分正答 □ 誤答 ■ 無答

2 指導のポイント

定着に課題がみられた4(2)では、数の性質を発展させ、新たな性質を見いだすことが求められる。このような力を育成するためには、見いだした数の性質を振り返り、条件をかえたり、逆を考えたりするなど発展的に考える場面を教師が意図的に設ける必要がある。例えばこの問題を使った次のような学習指導が考えられる。

- ① 「連続する4つの整数について、大きい方から1番目の数と大きい方から2番目の数の積から、小さい方から1番目の数と小さい方から2番目の数の積を引いたときの差が、その連続する4つの整数の和に等しくなる。」という予想がいつ

でも成り立つことを文字を用いて説明できることを理解させた後に、連続する4つの整数について、ほかにも成り立つ性質がないかを考えさせる。

- ② まず、個人で考えさせた後に、グループに分かれて自分なりに考えたことを共有させる。例えば、次のような予想が出てくることが考えられる。

〔予想Ⅰ〕小さい方から2番目の数と大きい方から1番目の数の積から、小さい方から1番目の数と大きい方から2番目の数の積を引いたときの差が、小さい方から1番目の数と大きい方から1番目の数の和に等しくなる。

〔予想Ⅱ〕小さい方から2番目の数と大きい方から2番目の数の積から、小さい方から1番目の数と大きい方から1番目の数の積を引いたときの差は、いつでも2になる。

- ③ ②で出てきた予想についても文字を用いることにより、いつでも成り立つことが説明できることを理解させた後に、「いま、みんなが説明してくれた性質は連続する5つの整数になっても同じことが言えるのだろうか。」と新たな課題を投げかける。再度、個人で考えさせ、連続する5つの整数であっても、〔予想Ⅰ〕については4つの整数の場合と同じようにいつでも成り立つこと、〔予想Ⅱ〕については4つの整数の場合とは異なりその差がいつでも3になることに気付かせる。このことをペアやグループになって、数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし筋道立てて説明し伝え合う活動に取り組ませる。

- ④ これらの活動を通して、お互いの考えをよりよいものにしたり、一人では気付くことのできなかつた新たなことを見いだしたりする機会が生まれることを体験させ、さらに調べてみたいと考えたことをワークシートなどに記述させる。

このような学習指導を通して、数の性質を発展させ、新たな性質を見いだす力を育成していくことができると考えられる。

理 科

1 出題のねらい及び正答率

第1分野及び第2分野ともに、基礎的・基本的な知識・理解，科学的な思考力・表現力及び観察・実験の技能をみるように努めた。

各問題のねらい（以下，（ ）内のパーセントは正答率を示す。）

① 斜面を下る小球の衝突実験を素材として，基礎的・基本的な知識・理解及び科学的な思考力・表現力をみる問題である。

- 1 重さ及び仕事の量について理解している。（小球の重さ 86.5%，仕事の量 44.1%）
- 2 運動する物体に働く摩擦力について理解している。（7.4%）
- 3 グラフを基に，小球を転がす高さを求めることができる。（54.3%）
- 4 木片の移動距離が小さくなった理由について，小球がもつエネルギーと摩擦力とを関連付けて考察し，それを表現することができる。（18.1%）
- 5 ふりこの運動における力学的エネルギーの変換について考察することができる。（62.8%）

② 地層に関する資料を素材として，基礎的・基本的な知識・理解，科学的な思考力・表現力及び観察・実験の技能をみる問題である。

- 1 れき岩を構成している粒が丸みを帯びている理由について考察し，それを表現することができる。（66.3%）
- 2 砂岩のつくりについて理解している。（59.7%）
- 3 石灰岩であることを確かめる実験の結果について理解している。（65.5%）
- 4 図を基に，地層ができた後に断層が生じたと考えられる理由について考察することができる。（44.0%）
- 5 (1) かぎ層について理解している。（A 73.0%，B 69.0%，C 40.4%）
(2) 地層を構成する堆積岩の粒の大きさと，その地層ができるときの水深や河口からの距離との関係について考察することができる。（56.7%）

③ 生物の観察に関する資料を素材として，基礎的・基本的な知識・理解及び科学的な思考力・表現力をみる問題である。

- 1 軟体動物について理解している。（66.9%）

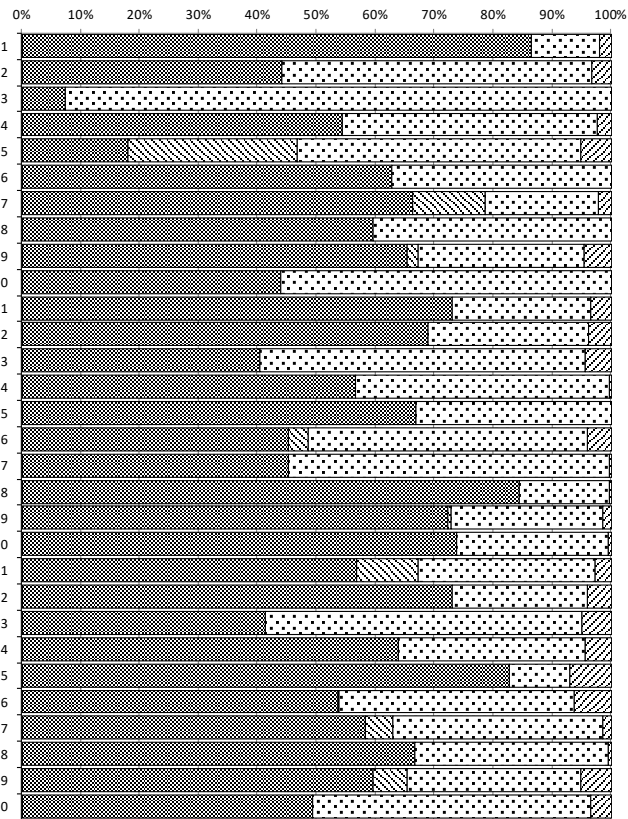
- 2 資料を基に、観察した生物がハチュウ類ではない理由について考察し、それを表現することができる。(45.3%)
- 3 セキツイ動物の中で、殻のない卵を生む仲間について理解している。(45.2%)
- 4 (1) シソチョウの化石に見られるハチュウ類の特徴と鳥類の特徴について理解している。(84.4%)
(2) 相同器官について理解している。また、相同器官の存在が進化の証拠であることについて考察することができる。(X・Y 72.3%, Z 73.7%)
(3) 示相化石から当時の環境を推定し、それを表現することができる。(56.9%)

4 化学変化の前後における物質の質量の変化を調べる実験を素材として、基礎的・基本的な知識・理解及び科学的な思考力・表現力をみる問題である。

- 1 中和について理解している。(73.1%)
- 2 実験により生じた白い沈殿について、化学式からその名称を示すことができる。また、化学反応式から、塩化ナトリウムが生じることを考察し、化学式で表すことができる。(A 41.4%, B 63.8%)
- 3 質量保存の法則について理解している。また、その法則が成り立つことについて、化学反応式の表し方と関連付けて考察し、それを表現することができる。(名称 82.7%, X・Y 53.7%)
- 4 気体が発生する開いた系の実験において、反応後の容器全体の質量が減少する理由について考察し、それを表現することができる。(58.2%)
- 5 (1) グラフを基に、銅に化合した酸素の質量を求めることができる。(66.7%)
(2) 一定量の銅に化合する酸素の質量には限界があることについて理解している。(59.6%)
(3) グラフから銅と酸素とが化合するときの質量の比を求め、その比を基に、銅に化合した酸素の質量を求めることができる。(49.3%)

※ 正答率詳細

理科		1	2	3	4	
問題番号		正答	部分正答	誤答	無答	
1	1	86.5	0.0	11.6	1.9	
	2	44.1	0.0	52.6	3.3	
	3	7.4	0.0	92.5	0.1	
	4	54.3	0.1	43.3	2.3	
	5	18.1	28.7	48.1	5.1	
2	1	62.8	0.0	37.1	0.1	
	2	66.3	12.4	19.2	2.1	
	3	59.7	0.0	40.3	0.0	
	4	65.5	1.8	28.2	4.5	
	5	44.0	0.0	55.9	0.1	
3	(1)	A	73.0	0.0	23.7	3.4
	(1)	B	69.0	0.0	27.1	3.9
	(1)	C	40.4	0.0	55.2	4.4
	(2)		56.7	0.0	43.0	0.3
	1		66.9	0.0	33.0	0.2
4	2		45.3	3.3	47.5	4.0
	3		45.2	0.0	54.6	0.2
	(1)		84.4	0.0	15.3	0.3
	(2)	X・Y	72.3	0.6	25.7	1.4
	(2)	Z	73.7	0.0	25.8	0.5
5	(3)		56.9	10.4	29.9	2.8
	1		73.1	0.0	22.9	4.0
	2	A	41.4	0.0	53.8	4.9
	2	B	63.8	0.0	31.7	4.5
	3	名称	82.7	0.0	10.4	6.9
6	4	X・Y	53.7	0.1	39.9	6.3
	5		58.2	4.8	35.6	1.4
	(1)		66.7	0.0	32.8	0.5
	(2)		59.6	5.8	29.4	5.2
	(3)		49.3	0.0	47.2	3.5



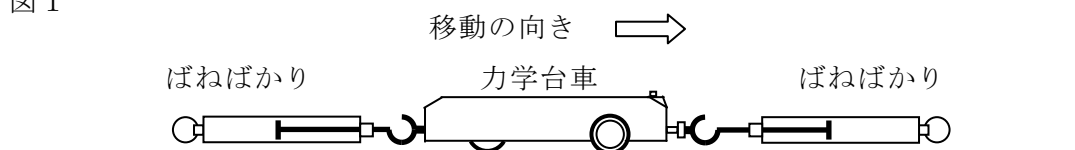
■ 正答 □ 部分正答 ▨ 誤答 ▩ 無答

2 指導のポイント

定着に課題がみられた¹2では、運動している物体に働く力を考える際に、摩擦力が運動の向きと逆向きに働くことや、物体に力が働かないときには運動している物体は等速直線運動を続けるという慣性の法則を理解していることが求められる。そのためには、物体に力が働く運動と働かない運動についての規則性を見いださせるような学習場面を教師が意図的に設ける必要がある。例えば、次のような学習指導が考えられる。

- ① 図1のように、滑らかな水平面上にある力学台車の両端にばねばかりを1本ずつ付ける。力学台車を右向きに移動させながら、ばねばかりで右向きの力と左向きの力を同時に加え続け、力学台車の速さを変化させる実験を行う。

図1



- ② 図2のように、右向きに加える力を左向きに加える力より大きくすると力学台車の速さが大きくなり、図3のように、左向きに加える力を右向きに加える力より大きくすると力学台車の速さが小さくなるという規則性を見いださせる。

図2

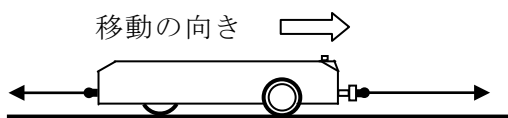
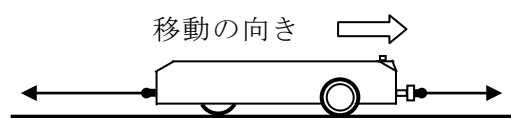


図3



- ③ 「滑らかな水平面上で、力学台車を右向きに移動させながら等速直線運動させるには、左右のばねばかりで加える力の大きさをどのようにすればよいか。」について考えさせ、図4のように、左右に同じ大きさの力を加え続けるときに等速直線運動するという規則性を見いださせる。このとき、左右のばねばかりで加える2力はつり合っており、水平方向に力が働いていないのと同じであるため、慣性の法則により、力学台車が等速直線運動することを理解させる。

図4



- ④ 摩擦のある水平面上においても、力学台車を右向きに移動させながら、ばねばかりで左右に同じ大きさの力を加え続けるときに力学台車の速さの変化について、③の結果と比較させながら考察させ、摩擦力が運動の向きと逆向きに働くことによって力学台車の速さが小さくなるという規則性を見いださせる。
- ⑤ ②～④により、運動する力学台車に働く力について実感させ、次に、ばねばかりを付けずに力学台車を運動させる。このとき、滑らかな水平面上では水平方向には何も力が働かずに等速直線運動し続けること、摩擦のある水平面上では水平方向には摩擦力のみが運動の向きと逆向きに働くことについて理解させる。

指導の際には、力学台車の運動の変化の様子について、記録タイマーなどによる測定結果の考察だけでなく、直接観察したり、録画したビデオ映像で確認したりして、おおよその傾向を捉えさせ、実感を伴った理解を促すことも考えられる。また、慣性の法則についての理解を促す際には、力は物体同士の相互作用であることに気付かせることを通して、作用・反作用の働きについて触れることも考えられる。

このような学習指導を通して、摩擦力が運動の向きと逆向きに働くことや、物体に力が働かないときには運動している物体は等速直線運動を続けるという慣性の法則への理解が深められると考えられる。

英 語

1 出題のねらい及び正答率

「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の4領域において、英語を理解し、英語で表現する能力を総合的にみるように努めた。

各問題のねらい（以下、（ ）内のパーセントは正答率を示す。）。

1 英語による放送を聞き、その内容を理解する能力及び自分の考えを表現する能力をみる問題である。

- A 対話の概要や要点を理解し、質問に対する応答として最も適切な英文や図表を選ぶことができる。(No.1 96.0%, No.2 80.8%, No.3 22.3%, No.4 82.3%)
- B 英文の概要や要点を理解し、質問に対する自分の考えが読み手に正しく伝わるように英文を書くことができる。(3.3%)

2 会話文を読み、その内容について総合的に理解し表現する能力をみる問題である。

- 1 会話文の要点を的確に捉えることができる。(92.6%)
- 2 場面や状況に合った適切な表現を選ぶことができる。(61.5%)
- 3 与えられた語を適切に並べかえることができる。(29.1%)
- 4 会話文の要点を的確に捉えることができる。((1) 66.1%, (2) 74.1%, (3) 67.2%, (4) 74.6%, (5) 62.0%)
- 5 会話文の内容に基づいて、自分の考えが読み手に正しく伝わるように英文を書くことができる。(13.9%)

3 長い文章を読み、その内容について総合的に理解し表現する能力をみる問題である。

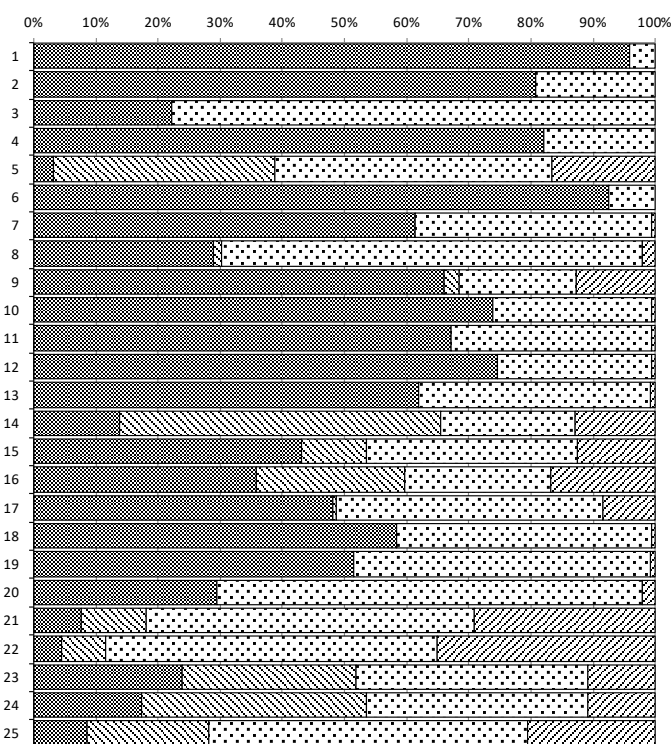
- 1 文章の要点を理解し、英語による質問に英語で適切に応答することができる。((1) 43.2%, (2) 36.0%)
- 2 文章の流れに合った適切な語を考えて書くことができる。(48.2%)
- 3 指示された内容に合った適切な英文を選ぶことができる。(58.5%)
- 4 内容の展開を的確に捉えることができる。(51.5%)
- 5 文章の概要や要点を理解し、本文の内容に合った英文を選ぶことができる。(29.5%)

6 文章の概要や要点を理解し、質問に対する自分の考えが読み手に正しく伝わるように英文を書くことができる。(1) 7.7%, (2) 4.5%)

4 日常生活の場面において、資料を基に表現内容を工夫してコミュニケーションを行う能力をみる問題である。(A 23.9%, B 17.4%, C 8.7%)

※正答率詳細

英語		1	2	3	4	
問題番号		正答	部分正答	誤答	無答	
1	A	No.1	96.0	0.0	4.0	0.0
		No.2	80.8	0.0	19.2	0.0
		No.3	22.3	0.0	77.7	0.0
		No.4	82.3	0.0	17.7	0.0
	B	3.3	35.7	44.6	16.5	
2	1	92.6	0.0	7.4	0.0	
	2	61.5	0.0	38.0	0.5	
	3	29.1	1.2	67.8	2.0	
	4	(1)	66.1	2.5	18.8	12.7
		(2)	74.1	0.0	25.5	0.4
		(3)	67.2	0.0	32.4	0.4
		(4)	74.6	0.0	25.0	0.4
		(5)	62.0	0.0	37.4	0.6
	5	13.9	51.6	21.7	12.9	
	3	1	(1)	43.2	10.5	33.9
(2)			36.0	23.7	23.6	16.7
2		48.2	0.6	42.9	8.3	
3		58.5	0.0	41.0	0.5	
4		51.5	0.0	47.8	0.7	
5		29.5	0.0	68.5	2.0	
6		(1)	7.7	10.5	52.8	29.0
		(2)	4.5	7.2	53.3	35.0
4	A	23.9	28.1	37.2	10.8	
	B	17.4	36.3	35.5	10.8	
	C	8.7	19.4	51.5	20.3	



■ 正答 □ 部分正答 ▨ 誤答 ▩ 無答

2 指導のポイント

定着に課題がみられた36では、文章の概要や要点を理解し、質問に対する自分の考えが読み手に正しく伝わるように英文を書く力が求められる。そうした力を育成するためには、まず書き手の伝えようとすることを正確に読み取らせる指導が必要である。その上で単に内容を理解させるだけでなく、話し手、書き手として主体的に考えたり判断したりしながら表現させる言語活動を工夫する必要がある。

そこで、中学校第3学年において、次のような学習指導を例に挙げる。この事例では、「日本の祭りの魅力」を題材とした文章を読み、その内容や内容に対する自分の考えをALTに説明するという場面を設定している。

① 読み取りの目的を明らかにし、その後どのような活動を行うのかをあらかじめ

説明しておく。また、事前に手がかりとなる語句や表現をヒントとして与えたり、身近な祭りに関する質問をしたりする。

- ② 文章を読んだ後、要約に必要であると思われる重要な情報を含む英文に下線を引かせたり、キーワードを抜き出させたりする。
- ③ ペアで、聞き手に対して下線を引いた英文や抜き出したキーワードを見ながら文章を要約して伝えさせる。その後、日本の祭りの魅力に関する自分の考えとその理由を述べさせる。
- ④ 相手の発話内容を参考にして、③で話したことに情報を追加させたり、自分の考えを深化させたりして、ALTに説明する内容を書かせる。その際、まとまりのある文章とまとまりのない文章を例示し、それらを比較させることでまとまりのある文章の構成を確認させておく。
- ⑤ 4人程度のグループに分け、それぞれが書いたものを交換させ、文章に関して英語で質問させたり、コメントを述べさせたりする。
- ⑥ 教師や他の生徒から受けたフィードバックを参考に、書いた文章を推敲させ、ALTに対して発表を行わせる。ALTは優れた発表を数点選び、全体で共有する。

実際の指導に当たって留意すべき事項として、次の2点が挙げられる。

1点目は、文章の概要や要点を把握させる際には、逐語的な読みから脱却し、意味のまとまりごとに英文を捉えさせるということである。その際、それぞれの情報の関係を示す接続詞に注目させながら、文章の流れを理解するためのキーワードを拾わせることが効果的であると考えられる。

2点目は、伝えるべき内容を適切にまとまりよく書かせるための工夫を図ることである。複数の文章を例示してどのような点が優れているかを話し合わせたり、ひな形を与えたりして、全体の構成を考えて書くよう促すことが考えられる。その際、接続詞や副詞を使って文と文の順序や相互の関連に注意を払ったり、文と文のつながりを示す語句を使ったりして英文を書かせることが必要である。

このような言語活動を計画的・系統的に行わせることによって、文章の概要や要点を理解し、質問に対する自分の考えが読み手に正しく伝わるように英文を書く力を育成することができると考えられる。



第 1 日 国 語

(9:30~10:20)

Ⅲ 令和2年度学力検査問題, 採点基準

注 意

- 1 検査開始のチャイムがなるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の1ページから13ページに, 問題が一から四まであります。
これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

吉をどのような人間に仕立てるかということについて、吉の家では晩飯後毎夜のように論議せられた。またその話が始まった。吉は牛にやる雑炊を煮きながら、ひとり柴の切れ目からぶくぶく出る泡を面白そうに眺めていた。「やはり吉を大阪へやる方が好い。十五年も辛抱したなら、暖簾が分けてもらえるし、そうすりやあそこだから直ぐに金も儲かるし。」そう父が言うのに母はこう言った。「大阪は水が悪いというから駄目駄目。幾らお金を儲けても、早く死んだら何もならない。」「百姓させば好い、百姓を。」と兄は言った。「吉は手工が甲だから信楽へお茶碗造りにやるといいよ。あの職人さんほどいいお金儲けをする人はないって言うし。」そう口を入れたのは、ませた姉である。「そうだ、それも好いな。」と父は言った。母だけはいつまでも黙っていた。

その夜である。吉は真つ暗な果てしのない野の中で、口が耳まで裂けた大きな顔に笑われた。その顔は何処か正月に見た獅子舞いの獅子の顔に似ているところもあつたが、吉を見て笑う時の頬の肉や殊に鼻のふくらぎまでが、人間のようにびくびくと動いていた。吉は必死に逃げようとするのに足がどちらへでも折れ曲がつて、ただ汗が流れるばかりで、^①ケツキヨク身体はもとの道の上から動いていなかった。けれどもその大きな顔は、だんだん吉の方へ近づいて来るのは来るが、さて吉をどうしようともせず、何時までたつてもただにやりにやりに笑っていた。何を笑っているのか吉にも分からなかった。が、とにかく彼を馬鹿にしたような笑顔であつた。

ひと月もたつと四月が来て、吉は学校を卒業した。しかし、少し顔色の青くなった彼は、まだ剃刀を研いでは屋根裏へ通い続けた。そしてその間も時々家の者らは晩飯の後の話のついでに吉の職業を選び合った。が、話は一向にまとまらなかつた。ある日、^②昼餼を終えると父は額を撫でながら剃刀を取り出した。吉は湯を飲んでいて。「誰だ、この剃刀をぼろぼろにしたのは。」父は剃刀の刃をすかして見てから、紙の端を二つに折つて切つてみた。が、少し引つかかつた。父の顔は険しくなつた。吉は飲みかけた湯を暫く口へ溜めて黙っていた。「吉がこの間研いでいましたよ。」と姉は言った。「吉、お前どうした。」やはり吉は黙つて湯をごくりと咽喉へ落とし込んだ。「うむ、どうした？」吉が何時までも黙っていると、「ははア分かつた。吉は屋根裏へばかり上つていたから、何かしていたに決まつてる。」と姉は言つて庭へ降りた。「いやだ。」と吉は鋭く叫んだ。「いよいよ怪しい。」姉は梁の端に吊り下がっている梯子を昇りかけた。すると吉は裸足のまま庭へ飛び降りて梯子を下から揺すぶり出した。「恐いよう、これ、吉つてば。」肩を^③チヂメている姉はちよつと黙ると、口をとがらせて唾を吐きかける真似をした。「吉ッ！」と父は叱つた。暫くして屋根裏の奥の方で、「まアこんなところに仮面が作えてあるわ。」という姉の声がした。吉は姉が仮面を持つて降りて来るのを待ち構えていて飛びかかつた。姉は吉を突き除けて素早く仮面を父に渡した。父はそれを高く擡げるようにして暫く黙つて眺めていたが、「こりや好く出来とるな。」またちよつと黙つて、「うむ、こりや好く出来とる。」と言つてから頭を左へ傾け変えた。仮面は父を見下して馬鹿にしたような顔でにやりと笑っていた。その夜、

翌朝、薄団の上に座つて薄暗い壁を見詰めていた吉は、昨夜夢の中で逃げようとしてもがいたときの汗を、まだかいていた。その日、吉は学校で三度教師に叱られた。最初は算術の時間で、仮分数を帯分数に直した分子の数を聞かれた時に黙っていると、「そうれ見よ。お前はさつきから窓ばかり眺めていたのだ。」と教師に睨まれた。二度目の時は習字の時間である。その時の吉の草紙の上には、字が一字も見あたらないで、宮の前の高麗狗の顔にも似ていれば、また人間の顔にも似つかわしい三つの顔が書いてあつた。そのどの顔も、^①笑いを浮かばせようと骨折つた大きな口の曲線が、幾度も書き直されてあるために、真つ黒くなつていた。三度目の時は学校の退けるときで、皆の学童が包を仕上げて札をしてから出ようとする時、教師は吉を呼び止めた。そして、もう一度札をし直せと叱つた。

家へ走り帰ると直ぐ吉は、鏡台の引き出しから油紙に包んだ剃刀を取り出して人目につかない小屋の中でそれを研いだ。研ぎ終わると軒へ回つて、積み上げてある割木を眺めていた。それからまた庭へ入つて、餅搗き用の杵を撫でてみた。が、またぶらぶら流し元まで戻つて来るとまな板を裏返してみたが急に彼は井戸傍の跳ね釣瓶の下へ駆け出した。「これはうまいぞ、うまいぞ。」そう言いながら吉は釣瓶の尻の重りに縛り付けられた樗の丸太を取りはずして、その代わりに石を縛り付けた。暫くして吉は、その丸太を三、四寸も^②アツみのある幅広い長方形のものにしてから、それと一緒に鉛筆と剃刀とを持つて屋根裏へ昇つていった。次の日もまたその次の日も、そしてそれから^②ずつと吉は毎日同じことをした。

納戸で父と母とは寝ながら相談をした。「吉を下駄屋にさせよう。」最初にそう父が言い出した。母はただ黙つてきいていた。「道路に向いた小屋の壁をとつて、そこで店を出さそう、それに村には下駄屋が一軒もないし。」ここまで父が言うと、今まで心配そうに黙つていた母は、「それが好い。あの子は身体が弱いから遠くへやりたくない。」と言つた。^{※1}間もなく吉は下駄屋になつた。吉の作った仮面は、その後、彼の店の鴨居の上で絶えず笑つていた。無論何を笑っているのか誰も知らなかつた。吉は二十五年仮面の下で下駄をいじり続けて貧乏した。無論、父も母も亡くなつていた。ある日、吉は久しぶりでその仮面を仰いで見た。すると仮面は、鴨居の上から馬鹿にしたような顔をしてにやりと笑つた。吉は腹が立つた。次には悲しくなつた。が、また腹が立つて来た。「貴様のお蔭で俺は下駄屋になつたのだ！」吉は仮面を引きずり降ろすと、鉈を振つてその場で仮面を二つに割つた。暫くして、彼は持ち馴れた下駄の台木を眺めるように、割れた仮面を手にとつて眺めていた。が、ふと何だかそれで立派な下駄が出来そうな気がして来た。すると間もなく、吉の顔はまたもつのように満足そうにぼんやりと和らぎだした。^{※2}

(横光利一「笑われた子」による。)

- (注1) 暖簾を分ける Ⅱ 長年よく勤めた店員などに新しく店を出させ、同じ店名を名乗ることを許す。
- (注2) 手工が甲 Ⅱ 図画工作の成績が良いこと。
- (注3) 信楽 Ⅱ 滋賀県の地名。信楽焼という陶器の産地。
- (注4) 高麗狗 Ⅱ 神社の社殿の前に置いてある獅子に似た獣の像。
- (注5) 跳ね釣瓶 Ⅱ 竿の先につけた桶を石などの重みで跳ね上げ、井戸の水を汲むようにしたもの。
- (注6) 昼餉 Ⅱ 昼食。
- (注7) 梁 Ⅱ 屋根の重みを支えるために柱の上部に架け渡した材木。
- (注8) 鴨居 Ⅱ ふすまや障子などをはめ込むために、部屋と部屋の間や出入り口の上部に渡した溝のある横木。

1 ①、③のカタカナに当たる漢字を書きなさい。

2 1 笑いを浮かばせようと骨折った大きな口の曲線が、幾度も書き直されてあるとあるが、次の文は、吉がこのような行動をとった理由について述べたものです。空欄Ⅰに当てはまる適切な表現を、十字以内で書きなさい。

吉は、習字の時間も（Ⅰ）のことが気になっていたから。

5 ㉔ から ㉖ までの部分について、国語の時間に、生徒が話し合いをしました。次の【生徒の会話】はそのときのものです。これを読んで、あとの(1)・(2)に答えなさい。

【生徒の会話】

大野： 吉はある日、久しぶりに仮面を見たら、腹が立つてきて仮面を引きずり降ろして割ったのよね。でも、その後、吉が割れた仮面で立派な下駄が出来そうな気がして、もどのように満足そうに表情が和らいでいるのはなぜなのかな。

長野： 確か、吉が引きずり降ろして割った仮面は、吉を下駄屋にするという父の決断の大きなきっかけになっていたよね。

小川： なるほど。だから吉は、「貴様のお陰で俺は下駄屋になったのだ！」と言っているんだね。ということは、仮面は吉の（Ⅱ）を象徴していると考えられない？ 吉は自分が下駄屋として生きてきたことに不満があるのかなあ。

大野： 吉は二十五年間、下駄屋を続けてきたんだね。でも、ある日、久しぶりに鴨居の上の仮面を見たら、二十五年間、下駄屋を続けてきた自分の人生を、仮面が馬鹿にして笑ったように感じたんだよね。だから、腹が立つて、悲しくなつて、また腹が立つて仮面を引きずり降ろして割ったのだと思うよ。

長野： でも、吉は腹を立てて仮面を割ったけれど、本文の最後では、またもどのように満足そうにぼんやりと表情が和らいでいるよ。腹を立てていたのに、どうして最後に表情が満足そうにぼんやりと和らいだのかなあ。

3 2 ずっと吉は毎日同じことをしたとあるが、吉は毎日どこで何をしていたのですか。十五字以内で書きなさい。

4 文章中で、母はどのような母親として描かれていると考えられますか。本文の内容を根拠に挙げ、「……ところや、……ところから、……母親として描かれていると考えられる。」という形式によって、あなたの考えを書きなさい。

小川： 腹を立てて仮面を割った後、暫くして、持ち馴れた下駄の台木を眺めるように、割れた仮面を手にとつて眺めて、ふと何だかそれで立派な下駄が出来そうだと感じているよね。吉は強く意識しているわけではないかもしれないけれど、この吉の行動は、吉が（Ⅲ）ということの表れだと思ふなあ。だから、腹が立っていたけれど、暫くすると、もどのように満足そうに表情が和らいだんじゃないかな。

大野： そうだね。「ぼんやりと和らぎだした」という表現に、吉の性格も表れているなあと思つたよ。

(1) 空欄Ⅱに当てはまる最も適切な表現を、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

- ア 秘められた本心 イ 家族との別離
- ウ 定められた運命 エ 報われない努力

(2) 空欄Ⅲに当てはまる適切な表現を「……ことで、……になっている」という形式によって書きなさい。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

世界中にある絵画の中で、もしも一枚だけ好きな絵をもらえたとしたら、どのアーティストの作品が欲しい？

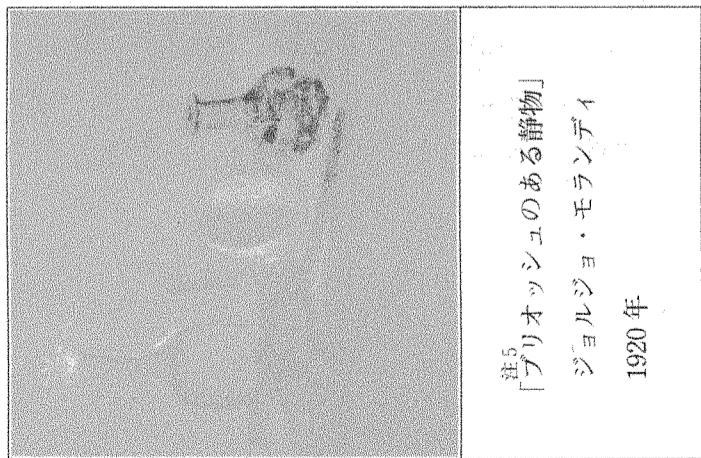
アート関係者が集まった酒宴の席で、そんな質問が飛び出した。私は、さつそく自分にとっての「この一枚」は誰の作品だろうか、と思索した。どんなアーティストを選ぶかによつて、その人の個性も垣間見える。これは心して選ばねばなるまい。ピカソもいいし、マティスも捨てがたい、はたまたセザンヌも……などと迷っていたら、現代アートを専門にしているキュレレーターの友人が、意外な画家の名を挙げた。それは、ジョルジョ・モランディであった。

「瞬にして、その場の空気がさつと変わった。全員、一様に、その手があつたか！ という表情を見せた。ピカソやマティスを思い描いていた私も、「ああ、モランディ！」と思わず膝を打った。そして、誰もが口々に「いやあ、モランディはいいよね」「ほんとうにいい」と言い合つたのである。

このエピソードは、ジョルジョ・モランディを巡る象徴的なふたつのことを物語っている。ひとつは、モランディという画家が、ぱつと真つ先に思い出されたり、とかく参照されたりということがあまりない画家、つまり、ピカソやマティスやセザンヌなどとは異なり、いたつて地味な画家であるということ。もうひとつは、誰もが「ものすごく好き」というのではないけれど「憎からず」思っている画家なのだということ。つまり、誰にも「あの画家はいい」といわずめる普遍的な「何か」を、

るで冬眠しているかのように、静かに呼吸をし、明日へと命をつなごうとするひたむきな意志がある。その凍つたような情熱が、しんしんと観る側に伝わってくる。

テイト・モダンの「モランディ展」の入り口で、この画家に惹かれつつもその力量に対しては懐疑的だつた私だが、出口にたどりつく頃には、ほのかに満足していた。満腹感はない。けれど、八分目でじゅうぶんだ。滋味溢れるスローフードを食べたような、おだやかな満足感。ピカソやマティスやセザンヌにはない、不思議な満足感が、モランディの絵にはあるのだと知つた。



注5 「ブリーオオッシュュのある静物」
ジョルジョ・モランディ
1920年

(原田マハ 「いちまいの絵」による。)

モランディは持ち合わせている——といえるのではないか。

事実、私の周辺には、²公言こそしないが、「実はモランディが好きである」という隠れファンがけっこういる。私自身、モランディに対しては、いわくいいがたい魅力を感じているひとりなのである。

私が初めてまとまつたかたちでモランディの作品を観たのは、かれこれ十年近くまえのことだろうか。ロンドンを訪問している最中に、²テイト・モダンで、偶然、回顧展を開催していたのだ。

モランディはもちろん知っていたし、地味ながらいい仕事をしていることも、なんとなく心惹かれる画家であることもわかつていた。その作品が一堂に集められた展示室で、私はすっかり我を忘れてモランディの世界に入り込み、²没頭したのだ。

モランディの作品の多くは、さほどサイズが大きくなく、こぢんまりとしている。かつ、描かれているのは、なんの変哲もない瓶や水差しや花瓶などだ。それらの同じようなモチーフが、繰り返し繰り返し、作品の中に登場する。□、背景が変わつたり、視点が変わつたりすることもなく、ただただ、坦々と、同じようなものを、固定された視点で、ひたすらに、ひたむきに描いているのだ。

なんなんだこれは？ と初めて見た人は思うかもしれない。全部同じ静物画じゃないか、何がおもしろいんだ？ と。正直に告白すると、私も最初はそう思わなくはなかつた。

なぜそうまでして、同じものばかりを描き続けたのか。その冷めた情熱はいつたどこからきているのか。そう、モランディの描く絵には、不思議と情熱が感じられるのだ。ただし、その温度が極めて低い。ま

(注1) キュレレーター Ⅱ 博物館や美術館で作品収集や企画立案を行う専門職員。

(注2) テイト・モダン Ⅱ ロンドンにある国立近現代美術館。

(注3) モチーフ Ⅱ 創作の動機となる主要な題材・思想・モチーフ。

(注4) スローフード Ⅱ 質の良い食材で、時間をかけて作った料理。

(注5) ブリーオッシュュ Ⅱ パンの一種。

1 ①、③の漢字の読みを書きなさい。

2 ¹「瞬にして、その場の空気がさつと変わった」とあるが、筆者が、そのように感じたのはなぜですか。その理由について述べた次の文の空欄Ⅰに当てはまる適切な表現を、四十五字以内で書きなさい。

筆者の友人が答えた「ジョルジョ・モランディ」という画家は、(Ⅰ) 画家であるため、酒宴に参加した人たちが、全員、一様に、その手があつたか！ という表情を見せたから。

3 ² 公言と熟語の構成が同じものを、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 常備 イ 読書 ウ 樹木 エ 善悪

4 に当てはまる最も適切な語を、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

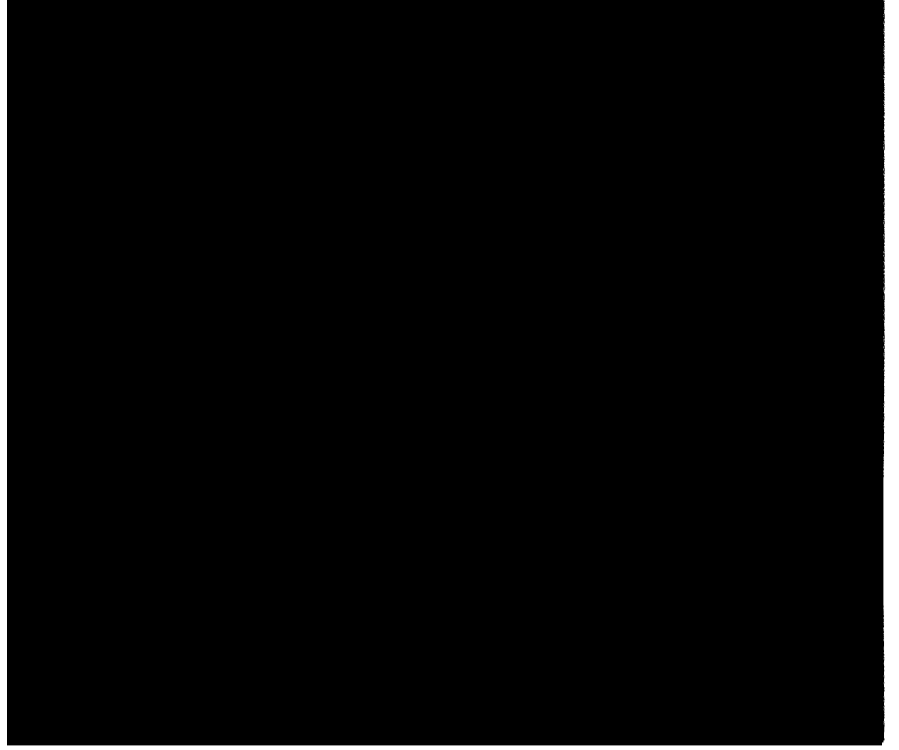
ア ところが イ それとも ウ むしろ エ しかも

5 ³ 不思議な満足感とあるが、ここで筆者が感じている不思議な満足感について、ある生徒が文章にまとめました。次の【ノート】はその生徒が文章にまとめたもので、【資料】は文章にまとめるために準備したものです。これらを読んで、【ノート】の空欄Ⅱに当てはまる適切な表現を、本文の内容と【資料】の内容を踏まえ、「価値」という語を用いて、五十字以内で書きなさい。

【ノート】

モランティの絵から「凍ったような情熱」が感じられるのは、モランティが描く側として（ Ⅱ ）からである。この「凍ったような情熱」を鑑賞することができたから、筆者は「不思議な満足感」を得ることが出来たのだろう。

【資料】



(岡田温司 「シヨルシヨ・モランティ」による。)

問題は、次のページに続きます。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

そもそも正月七日に、野に出でて、七草を摘みて、みかどへ供御に供
 ふるといふなる由来を尋ぬるに、唐土楚国の傍らに、大しうといふ者あ
 り。かれは なり。すでに、はや百歳に及ぶ父母あり、腰など
 もかがみ、目などもかすみ、言ふことも聞こえず。さるほどに、老いけ
 れば、大しうこの朽ちはたたる御姿を見参らす度に、嘆き悲しむこ
 と限りなし。

大しう思ふやうは、二人の親の御姿をふたたび若くなさまほしく思ひ
 て、明け暮れ天道に祈りけるは、「わが親の御姿、ふたたび若くなして
 たび給へ」と、仏神三宝に訴へ、「これかなはぬものならば、わが姿
 に転じかへてたび給へ。わが身は老となりて朽ちはつるとも、二人の親
 を若くなし給へ」と、あたり近きとうこう山によぢ登りて、三七日が間、

1 に当てはまる最も適切な表現を、次のア～エの中から選
 び、その記号を書きなさい。

- ア 親に孝ある者
- イ 子に頼る者
- ウ 親を欺く者
- エ 子を案ずる者

2 嘆き悲しむこと限りなしとあるが、大しうは何を嘆き悲しんでい
 るのですか。現代の言葉を用いて二十字以内で書きなさい。

3 訴への平仮名の部分を、現代仮名遣いで書きなさい。

4 この文章について、生徒が次のような話し合いをしました。空欄Ⅰ
 に当てはまる最も適切な表現を、あとのア～エの中から選び、その記
 号を書きなさい。また、空欄Ⅱに当てはまる適切な表現を、現代の言
 葉を用いて二十字以内で書きなさい。

山田： 大しうの両親はこの後どうなったのかなあ。この文章の続き
 が気になるなあ。
 大谷： 僕もそのことが気になって「御伽草子集」を図書館で借りて
 続きを現代語訳で読んでみたよ。すると、こんな話だったよ。

爪先を爪立てて、肝胆を砕き折りける。さても、諸天諸仏は、これを
 あはれみ給ひ、三七日満ずる暮れ方に、かたじけなくも帝釈天王は天
 降り給ひ、大しうに向かつてのたまふやうは、「なんぢ、浅からず親
 をあはれみ、ひとへに天道に訴ゆること、納受を垂れ給ふによつて、
 われ、これまで来るなり。いいで、なんぢが親を若くさん」とて、
 薬を与へ給ふぞありがたき。

(「御伽草子集」による。)

- (注1) 供御 天皇の飲食物。
- (注2) 大しう 人の名前。
- (注3) 三宝 仏教で信仰の対象となる、仏・法・僧の三つ。
- (注4) 三七日が間 仏に祈願をする二十一日間。
- (注5) 帝釈天王 仏法を守護する神。

【大谷さんが読んだ続きの要約】

大しうは、帝釈天王から伝授された通りに、七種類の野草で
 薬を作り、両親に与えた。すると、両親は二十歳くらいの姿に
 なり、大しうは大変に喜んだ。七草という七種類の野草を正月
 七日にみかどに差し上げるのは、この出来事がきっかけである
 とされている。

山田： 大しうの願いがかなっているね。大しうが（Ⅰ）か
 ら願いがかなったんだね。
 田中： この出来事が、みかどに七種類の野草を差し上げるきつかけ
 になったんだね。七種類の野草を差し上げることで、みかどに
 （Ⅱ）という気持ちを伝えるためなのだろうね。
 山田： そうだね。そしてこのことが、現在、僕たちが一月七日に
 「七草がゆ」を食べる行事とも関係しているのかもしれない
 ね。調べてみようよ。

- ア 中国の楚の国に何度も行った
- イ 神仏に熱心に祈り続けた
- ウ 自分の病を治すために薬を作った
- エ 努力して健康を保ち続けた

四 小島さんの学級では、国語の時間に、それぞれが書いた作文の題名についてアドバイスをし合う活動をしています。次の【メモ】は、中井さんが作文を書くときに準備したもので、【作文】は中井さんがメモを基に書いた作文です。また、【生徒の会話】はこの活動の過程で小島さんと中井さんが行ったものです。これらを読んで、あとの【問い】に答えなさい。

【メモ】

作文のテーマ 自分の尊敬する人物を例に挙げて、自分の目指す生き方を相手に伝える

自分の目標 自然科学の研究をして、発明家になる

例に挙げる、尊敬する人 エジソン

エジソンは、幼いころから身のまわりの様々なことに「なぜ？」という疑問を持っていた。小学校の授業でも、自分が「なぜ？」と感じたことはすぐに追究しないと気が済まないため、授業内容に関係のない、見当違いな発言や行動が目立ち、小学校を三か月で退学になってしまった。しかし、エジソンは図書館などで独学し、「なぜ？」と感じたことを追究し続けた。さらに、新聞の販売員として働いて得たお金で、自分の実験室を作り、様々な物を発明した。生涯、学び続ける姿勢を大切にし、最終的には、アメリカで千九十三件もの発明に関する特許を得た。

【生徒の会話】

中井： 小島さん、私の書いた作文を読んでみてどうだった？ 題名は適切だったかなあ。

小島： そうねえ……。私は、題名をもっと工夫したらいいんじゃないかと思つたわ。授業で、自分が一番伝えたいことの中核となる言葉を考えて題名やタイトルを付けるとよいと学習したよね。だから、中井さんの伝えたいことがもつと明確に伝わるような題名がいいんじゃないかな。今、話したことと、中井さんの作文を基にアドバイスを書いてみるわね。

【作文】

私の夢

中井 良子

私は理科の授業が好きだ。特に、実験をした後に考察し、「なぜ？」と思つていた疑問を追究することは本当に楽しい。だから、将来は大学で自然科学に関する研究をし、エジソンのように生活に役立つものを発明したいという夢を持っている。

エジソンは白熱電球や蓄音機などを発明した。私は、エジソンについて書かれた本に出会うまで、エジソンは発明家になるために大学でいろいろな研究をし、研究の中でひらめいたことを基に発明に至った人物だと思つていた。

しかし、エジソンに関する本を読み、エジソンは大学での研究の中で発明に至つたわけではないと分かつた。エジソンがたくさんのものを発明できたのは、「なぜ水をかけると火は消えるのか」「なぜチヨウは飛べるのか」というような、私が「当たり前だ」と思つていることを、小学生の頃から疑問に感じ、疑問に感じたことを自分の実験室でとことん研究していたからだ。日常の中で自分から疑問を持ち、追究し続ける姿勢に感動した。

私が日々の学習で、疑問を見だし追究することを楽しいと感じているところは、エジソンと共通していると思う。だから、発明家になるという目標に向かつて、これからも「なぜ？」と感じたことを、途中であきらめず、追究する姿勢を大切にしたい。

【問い】 小島さんは、中井さんが書いた作文の題名についてのアドバイスを書いて伝えることにしました。あなたならどのように書きますか。次の条件1～3に従つて、あなたの考えを書きなさい。

- 条件1 二段落構成とし、第一段落は、題名の案を挙げて書き、第二段落には、その題名がよいと考えた理由を書くこと。
- 条件2 【作文】と【生徒の会話】の内容を踏まえて書くこと。
- 条件3 二百字以内で書くこと。

第 1 日 社 会

(10:40~11:30)

注 意

- 1 検査開始のチャイムがなるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の1ページから14ページに、問題が1から4まであります。
これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号

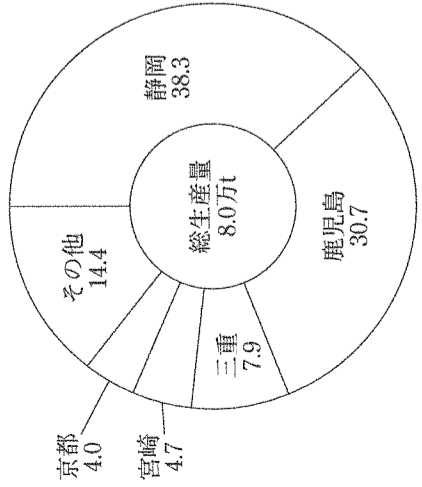
第

番

1 ある学級の社会科の授業で、「日本と世界の各地域における特色を農業の比較から考える」というテーマで班に分かれて課題を設定し、追究する学習をしました。太郎さんたちの班では、次のグラフⅠ・Ⅱを見付け、これらのグラフを基に茶の主な生産地に着目して話し合いました。下の会話はそのときのものです。あとの1～4に答えなさい。

グラフⅠ

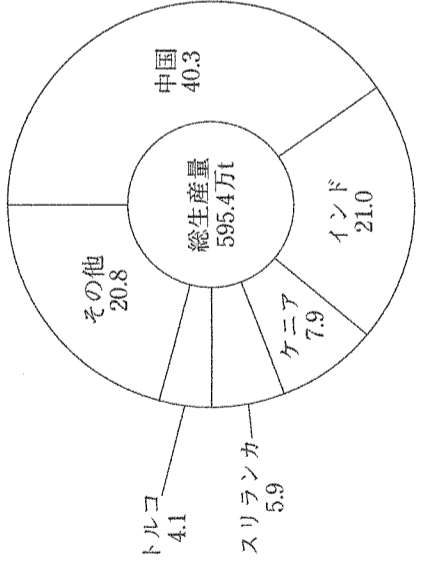
茶の生産量の県別割合 (%) (2016年)



(作物統計 平成28年産による。)

グラフⅡ

茶の生産量の国別割合 (%) (2016年)



(世界国勢図会 2018/19年版による。)

太郎さん：グラフⅠでは、日本の茶の生産量は静岡県が最も多く、次に多いのが鹿児島県だね。

この二つの県だけで日本の総生産量の約7割を占めているよ。

次郎さん：静岡県と①鹿児島県の茶の生産地には、どのような特色があるのかな。

太郎さん：②この二つの県の茶の生産について調べて比較すれば、両県の茶の生産地の特色を捉

えられるんじゃないかな。調べてみようよ。

花子さん：グラフⅡでは、世界の茶の生産量は中国が最も多く、次に多いのがインドだね。この

二つの国だけで世界の総生産量の約6割を占めているよ。③世界の茶の生産地には、

どのような特色があるのかな。

咲子さん：世界の茶の生産地も調べて比較してみよう。

1 下線部①に関して、鹿児島県の茶畑の分布を調べると、その多くは火山の噴出物が積み重なってできた台地に分布していることが分かりました。九州南部に広がっているこのような台地を何といいますか。その名称を書きなさい。

2 下線部②に関して、太郎さんたちの班では、静岡県と鹿児島県の茶の生産について調べたことを次の表Ⅰにまとめ、両県の茶の生産について比較することになりました。下の(1)・(2)に答えなさい。

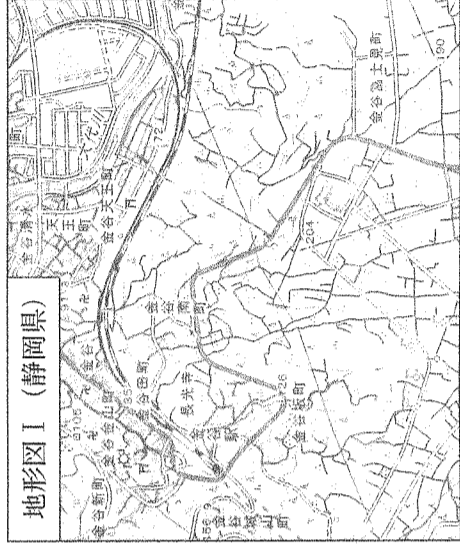
表Ⅰ

県	茶の栽培面積 (ha)	茶の収穫用の乗用大型機械の導入面積 (ha)
静岡	17,100	10,194
鹿児島	8,430	8,024

茶の収穫用の乗用大型機械の導入面積：茶の栽培面積のうち乗用大型機械を使用して収穫した面積
(「かごしま茶」未来創造プラン 平成31年による。)

(1) 太郎さんは、表Ⅰを見て、鹿児島県の方が静岡県よりも茶の栽培面積に対する茶の収穫用の乗用大型機械の導入面積の割合が高く、機械化が進んでいることに気がきました。機械化が進むと茶の生産にどのような利点があると考えられますか。「労働力」の語を用いて簡潔に書きなさい。

(2) 太郎さんは、「静岡県が鹿児島ほど乗用大型機械による機械化が進んでいないのはなぜだろう。」という疑問をもち、その理由について調べ、次の地形図Ⅰ・Ⅱを見付けました。地形図Ⅰ・Ⅱはそれぞれ静岡県と鹿児島県において、茶畑が分布している地域の主な地形を示しています。太郎さんは地形図Ⅰ・Ⅱを基に、静岡県が鹿児島ほど乗用大型機械による機械化が進んでいない理由を下のようによまとめました。太郎さんのまとめはどのようなものだと考えられますか。太郎さんのまとめの中の□に当てはまるように、適切な内容を書きなさい。



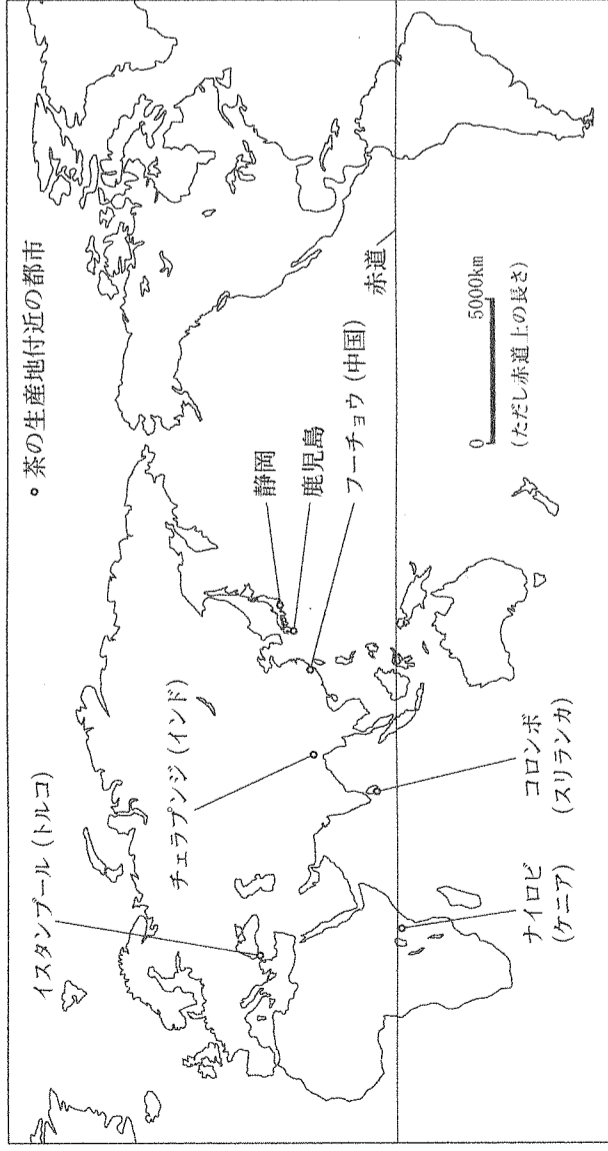
(国土地理院2万5千分の1地形図「島田」平成28年発行による。)

(国土地理院2万5千分の1地形図「枕崎」平成15年発行による。)

太郎さんのまとめ

鹿児島県よりも静岡県の茶畑の方が、主に□ので、乗用大型機械の導入は難しいと考えられる。

3 下線部③に関して、太郎さんたちの班では、世界の茶の生産地の特色について調べました。花子さんは、世界の茶の生産上位国と日本について、茶の主な生産地付近の都市の位置と気温を調べ、次の地図と下の表Ⅱを作成しました。地図は、それらの都市を示しています。また、表Ⅱは、それらの都市の年平均気温を示しています。あとの(1)・(2)に答えなさい。



表Ⅱ

茶の生産地付近の都市	年平均気温 (°C)
静岡	16.5
鹿児島	18.6
フーチョウ (中国)	20.2
チェラプンジ (インド)	17.5
ナイロビ (ケニア)	19.6
コロンボ (スリランカ)	27.7
イスタンブール (トルコ)	14.7

(理科年表 2019による。)

(1) 花子さんは、地図と表Ⅱを見て、地図中の茶の生産地付近の7つの都市の共通点を考えました。次のア～エのうち、この7つの都市の共通点として適切なものを全て選び、その記号を書きなさい。

- ア 北緯50度から南緯50度の間にある。
- イ 本初子午線から東経135度の間にある。
- ウ 冷帯と寒帯のどちらの地域にも含まれない。
- エ 砂漠の広がる地域に含まれる。

(2) 咲子さんは地図と表Ⅱを見て、ケニアのナイロビは、スリランカのココロンボより赤道に近いのに、ココロンボより年平均気温が低いことに疑問をもちました。ナイロビがココロンボより年平均気温が低いのはなぜだと考えられますか。その理由を、簡潔に書きなさい。

4 次郎さんは、世界の茶の生産と消費のかかわりについて興味をもち、世界の茶の消費量を上位5か国まで調べ、次の表Ⅲを作成しました。次郎さんはグラフⅡと表Ⅲを見て、ケニアは、茶の生産量は3位が多いが、消費量が5位までに入っていないことに疑問をもちました。ケニアは、茶の生産量は多いのに、消費量が少ないのはなぜだと考えられますか。その理由を、「商品作物」の語を用い、ケニアの経済の特徴に触れて簡潔に書きなさい。

表Ⅲ 茶の消費量 (2014～2016年の平均値)

順位	国	消費量 (万 t)
1	中国	179.1
2	インド	94.7
3	ロシア	25.7
4	トルコ	24.7
5	アメリカ	13.0

(静岡県茶業の現状、データブック オブ・ザ・ワールド) (2019年版による。)

2 ある学級の社会科の授業で、「税と政治とのかかわり」に注目して時代の特色を考える学習を行いました。このとき太郎さんたちの班では、各時代の納税と政治とのかかわりについて調べ、次のメモⅠ～Ⅴを作成しました。あとの1～5に答えなさい。

メモⅠ

飛鳥時代には、天皇を中心とした政治が目指され、大宝律令が定められた。人々は、①口分田を利用して生活の営み、大宝律令に規定された租・調・庸という税や、②防人などの兵役の義務が課された。

メモⅡ

鎌倉時代や室町時代には、国ごとに守護が、荘園や公領ごとに地頭が置かれ、守護は次第に守護大名として一国を支配するようになった。③惣と呼ばれる自治組織が作られ、団結した農民が守護大名や荘園領主と交渉して年貢を下げさせることがあった。

メモⅢ

江戸時代には、幕府と藩が全国を支配するようになった。幕府と藩は、農民の納める年貢米を主な財源としていたが、米の値段が安くなったことなどにより、財政難に直面した。18世紀には商工業者は、④株仲間という同業者組合を作った。

メモⅣ

明治時代には、大日本帝国憲法で天皇は国の元首とされ、衆議院と貴族院で構成される帝国議会が開かれることとなり、⑤国民の選挙により衆議院議員が初めて選ばれた。人々は地租改正により地価の3%の地租を現金で納め、この地租が政府の歳入の多くを占めるようになった。

メモⅤ

第二次世界大戦後には、国民主権を柱の一つとする日本国憲法が公布され、天皇は日本国と日本国民統合の象徴となった。治安維持法が廃止され、国民には政治活動の自由が認められ、選挙権が満20歳以上の男女に与えられた。また、⑥現在の税金の基本となる法律が整えられた。

1 次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 下線部①について、次のア～エのうち、古代の土地と税との関係について述べた文として最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

- ア 地主の土地が小作人に安く売り渡され、自分の土地で税を納められる者が増加した。
- イ 自分が耕作する土地の価値や面積、税額などを記した地券を所持していた。
- ウ 人々は国から農地を与えられ、そこからの収穫物で税を納め、死後は国に返した。
- エ 自分の土地を持つ本百姓から村役人が選ばれ、年貢の納入に責任を負った。

(2) 下線部②に関して、太郎さんは、防人が九州に置かれた理由について、次の資料を基に、下のようにまとめました。太郎さんのまとめはどのようなものだと考えられますか。太郎さんのまとめの中の□□に当てはまるように、適切な内容を書きなさい。

資料

7世紀半ばの朝鮮半島でのできごと

- ・660年：唐と新羅が連合して百済を滅ぼした。
- ・663年：日本は、親交のあった百済の復興を助けるために大軍を送ったが、敗れた。

太郎さんのまとめ

資料のできごと後の日本では、□□ことが予想されたため、防人が九州に置かれた。

2 下線部③に関して、自治の広まりを背景に、複数の村が共通の目的のために団結し、武装した農民が、酒屋や土倉を襲い、借金の帳消しなどを求めました。このような動きを何といいませんか。その名称を書きなさい。

3 下線部 ④ について、花子さんは、株仲間について調べ、株仲間は幕府と商工業者のそれぞれ
の立場にとって利点があることが分かり、次の表Ⅰを作成しました。株仲間による利点はそれぞ
れどのようなものだと考えられますか。表Ⅰ中の A と B に当ては
まるように、適切な内容をそれぞれ書きなさい。

表Ⅰ

幕府の立場	商工業者の立場
商工業者が株仲間を作ること認めることに より、 <input type="text"/> A <input type="text"/> ことができ、収入を増 やすことができる。	株仲間を作ること幕府に認められること により、 <input type="text"/> B <input type="text"/> ことができ、利益を 増やすことができる。

4 下線部 ⑤ に関して、次郎さんは、広島県で実施された第15回と第16回の衆議院議員総選挙に
ついて調べ、次の表Ⅱを作成しました。広島県で実施された第15回と第16回の衆議院議員総選挙
の議員一人当たりの有権者の数が表Ⅱのように変化したのは、この二つの選挙の間で選挙権が与
えられる資格に変更があったからです。それは、どのような変更ですか。第15回と第16回のそれ
ぞれの衆議院議員総選挙において選挙権が与えられた資格の違いに触れて、簡潔に書きなさい。

表Ⅱ

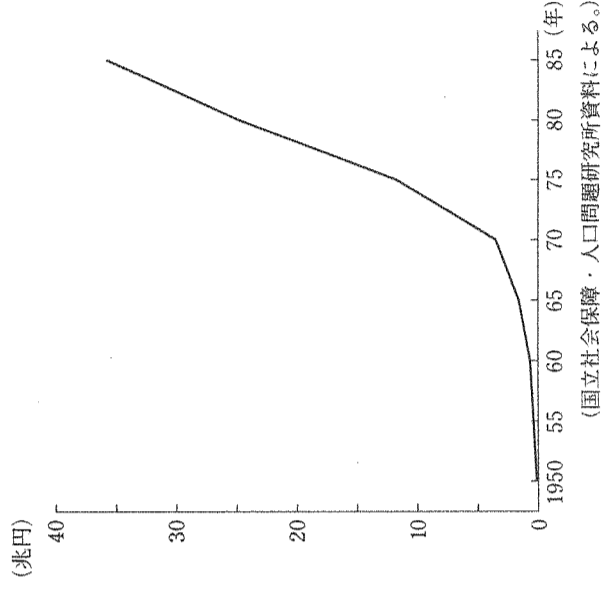
	実施年 (年)	人口 (人)	議員一人当たりの 有権者 (人)	議員 (人)
第15回	1924 (大正13)	1,584,100	7,760	14
第16回	1928 (昭和3)	1,665,600	27,227	13

(日本帝国統計年鑑による。)

5 下線部 ⑥ に関して、太郎さんたちの班では、自分たちの生活に身近な消費税について調べ、
消費税は1989年(平成元年)に新たな税として日本に導入されたことが分かりました。太郎さん
たちの班では、「消費税が導入されたのはなぜだろう。」という疑問をもち、その理由を調べまし
た。次のグラフⅠ・Ⅱはそのとき見付けたものです。消費税が導入されたのはなぜだと考えられ
ますか。その理由を、グラフⅠ・Ⅱを基に簡潔に書きなさい。

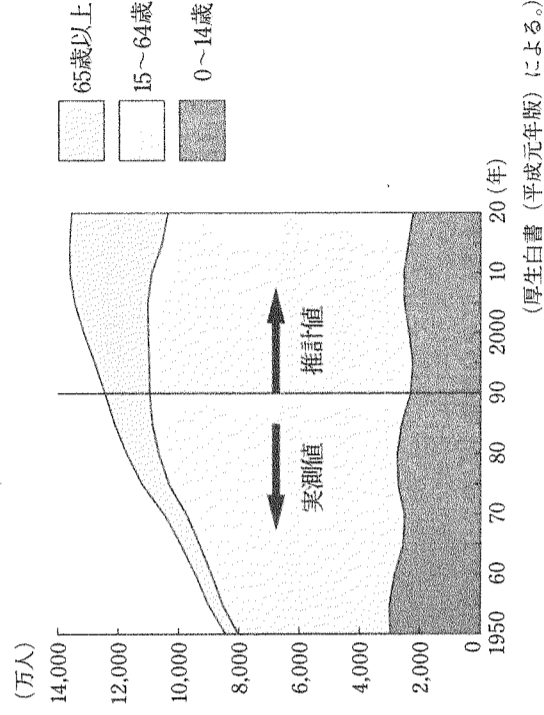
グラフⅠ

日本の社会保障給付費の推移



グラフⅡ

日本の人口と人口構成の変化



3 ある学級の社会科の授業で、「裁判と国民とのかわり」というテーマで班に分かれて学習しました。次の会話は、太郎さんたちの班が、裁判員制度に関する新聞記事の一部を見ながら話したものです。下の資料Ⅰは、この班が裁判員制度について調べた内容の一部です。あとの1～3に答えなさい。

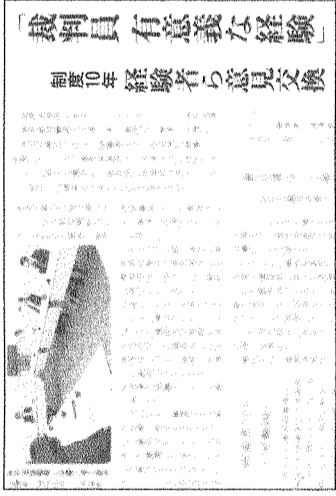
太郎さん：① 公正な裁判を行うために日本では様々な制度が整えられているよね。

次郎さん：こんな新聞記事を見付けたよ。裁判員制度が導入されて10年が経過したんだって。この記事によると、福島地方裁判所で裁判員経験者と裁判官や弁護士らの意見交換会があったって、この制度について「有意義な経験」と評価しているよ。

花子さん：どのような点が有意義だったんだろうね。

咲子さん：この制度を10年間行ってきたて、課題はなかったのかな。

太郎さん：国民が参加する制度が導入されたこの裁判員制度について調べてみようよ。



(2019年5月22日付 朝日新聞による)
朝日新聞社に無断で転載することを禁じます
承諾番号 20-1315

資料Ⅰ

〔裁判員制度の内容〕

・くじで選ばれた20歳以上の国民が、地方裁判所で行われる特定の② 刑事裁判に参加し、被告人が有罪か無罪か、有罪の場合はどのような刑にするのかを裁判官と一緒に決める制度である。

〔③ 裁判員制度導入の意義〕

・裁判の内容に国民の視点、感覚が反映され、司法に対する国民の理解が深まる。

1 下線部①に関して、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 次の資料Ⅱは、司法権の独立に関する日本国憲法第76条の一部を示しています。この資料Ⅱの中の a と b に当てはまる語をそれぞれ書きなさい。

資料Ⅱ

すべて裁判官は、その a に従ひ独立してその職権を行ひ、この憲法及び b へのみ拘束される。

(2) 日本の裁判では、一つの事件について3回まで裁判を受けられる三審制がとられています。それはなぜですか。その理由を、簡潔に書きなさい。

2 下線部②に関して、次のア～エのうち、日本国憲法に基づき保障されている被疑者・被告人の権利として適切なものを全て選び、その記号を書きなさい。

ア どのような場合でも、裁判官の出す令状がなければ逮捕されない。

イ どのような場合でも、自己に不利な供述を強要されない。

ウ どのような場合でも、拷問による自白は証拠とならない。

エ どのような場合でも、弁護人を依頼することができる。

3 下線部 ③ に関して、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 花子さんは、最高裁判所のウェブページに掲載されている報告書を基に、裁判官裁判(裁判官のみで判決を決める裁判)と裁判員裁判のそれぞれの判決内容を調べ、次の表Ⅰ・Ⅱを作成しました。花子さんは、資料Ⅰと表Ⅰ・Ⅱを基に、裁判員制度の導入の成果を下のようにまとめました。花子さんのまとめの中の A と B に当てはまる語はそれぞれ何ですか。表Ⅰ・Ⅱを基に、あとのア～エの組み合わせのうちから最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。また、花子さんのまとめの中の C には、どのような内容が当てはまると考えられますか。資料Ⅰを基に適切な内容を書きなさい。

表Ⅰ

犯罪の種類	執行猶予がつく割合	
	裁判官裁判 (%)	裁判員裁判 (%)
殺人既遂	5.0	8.2
殺人未遂	30.1	34.5
傷害致死	10.8	10.2
強盗致傷	8.2	12.8
放火既遂	24.7	31.8

執行猶予：刑罰が言い渡された者に対し、事情に応じて一定期間刑罰を執行せず、その期間刑罰を犯さず過ぎれば実刑を科さないことにする制度。

表Ⅱ

犯罪の種類	実刑のうち最も多い人数の刑期	
	裁判官裁判	裁判員裁判
殺人既遂	11年より長く13年以下	11年より長く13年以下
殺人未遂	3年より長く5年以下	5年より長く7年以下
傷害致死	3年より長く5年以下	5年より長く7年以下
強盗致傷	3年より長く5年以下	5年より長く7年以下
放火既遂	3年より長く5年以下	3年より長く5年以下

(最高裁判所ウェブページによる。)

花子さんのまとめ
 裁判員裁判は、裁判官裁判に比べて、執行猶予がつく割合は A 傾向がみられ、
 実刑のうち最も多い人数の刑期は B 傾向がみられる。これらことから、裁判員裁判の方が軽重の双方向で判断の幅が広がっていることがうかがえる。このことは、国民が判決を裁判官と一緒に決めることで C ことによる結果であると考えられ、裁判員制度を導入した成果であるといえる。

ア A 高くなる イ A 高くなる ウ A 低くなる エ A 低くなる
 B 短くなる B 長くなる B 短くなる B 長くなる

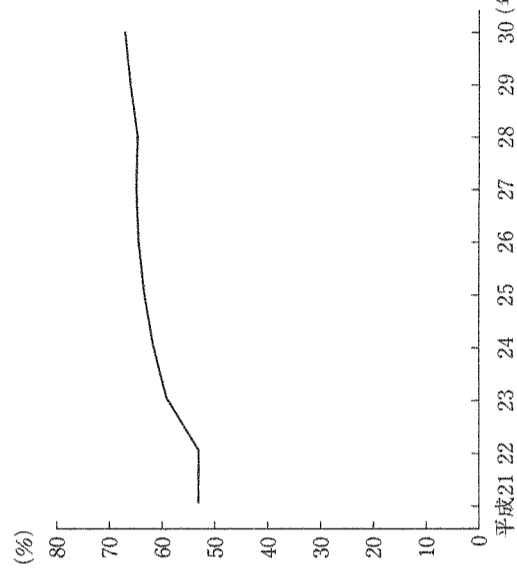
(2) 咲子さんは、裁判員制度に対する国民の意識について調べ、次のグラフⅠを見付けました。咲子さんはグラフⅠを基に、裁判員候補者の辞退率の上昇傾向が続いていることが裁判員制度の課題の一つであると考えました。この課題を解決するためにさらに調べ、グラフⅡ・Ⅲを見付けました。グラフⅡ・Ⅲは、裁判員を経験した人に、裁判員に選ばれた前の気持ちと裁判員として裁判に参加した感想をそれぞれまとめたものです。咲子さんはグラフⅡ・Ⅲを踏まえて、この課題を解決するための提案をすることになりました。あなたならどのような提案をしますか。条件Ⅰ・Ⅱに従って書きなさい。

条件Ⅰ グラフⅡ・Ⅲを踏まえて書くこと。

条件Ⅱ この課題を解決するために実施する具体的な方法を挙げて書くこと。

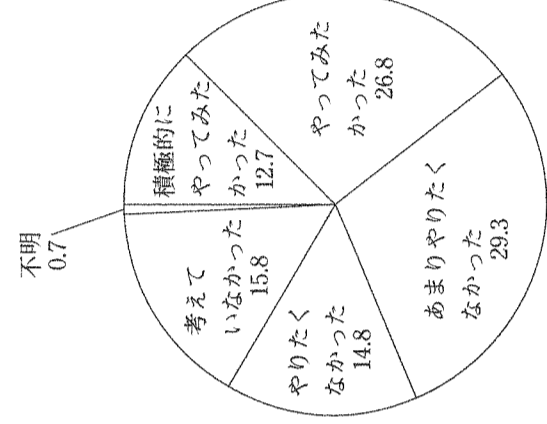
グラフⅠ

裁判員候補者の辞退率の推移



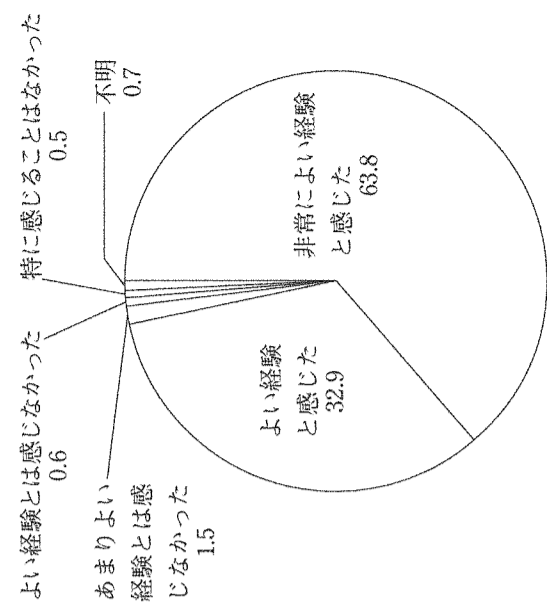
グラフⅡ

裁判員に選ばれた前の気持ち (%) (平成30年)



グラフⅢ

裁判員として裁判に参加した感想 (%) (平成30年)



(最高裁判所ウェブページによる。)

4 ある学級の社会科の授業で、班に分かれて、先生が提示した地方公共団体のうちから一つ選び、現状を調べ、活性化の具体策を提案する学習を行いました。太郎さんたちの班は、岐阜県中津川市を選び、はじめに市の現状について調べ、次のメモを作成しました。あとの1～3に答えなさい。

メモ

岐阜県中津川市について

- ・人口は、約79,000人（平成27年）で岐阜県内では8番目であり、減少傾向にある。
- ・男女とも65～69歳の年齢層の人口が最も多く、高齢化が進んでいる。
- ・中山道の宿場（宿駅）であった馬籠宿、落合宿、中津川宿の古い町並みが残る。
- ・馬籠宿は、詩人で小説家の島崎藤村の出身地である。
- ・特産品にトマト、なす、栗、茶、そばなどがある。
- ・主要道路に設けた休憩施設である「道の駅」が5か所ある。
- ・2027年開業予定のリニア中央幹線の駅が設置され、東京と約58分で結ばれる。

1 下線部①に関して、太郎さんは、中津川市の昼間人口と夜間人口について調べ、次の表を作成しました。この表のように、昼間人口と夜間人口に差が生じるのはなぜだと考えられますか。その理由を、簡潔に書きなさい。

中津川市の昼間人口と夜間人口（平成27年）	
昼間人口（人）	夜間人口（人）
77,807	78,883

（中津川市統計書による。）

2 下線部②に関して、花子さんは、中山道の歴史について調べ、そのことについて次郎さんと話しました。次の会話はそのときのものです。あとの(1)・(2)に答えなさい。

花子さん：中山道は、江戸時代の五街道の一つで、江戸から京都までを結ぶ約530kmの街道なのよ。

次郎さん：当時はこの街道を利用して が手紙などを運んでいたんだね。

花子さん：それだけではないの。多い時には30ほどの大名が参勤交代の際にこの街道を利用していたのよ。

次郎さん：江戸幕府が諸大名に対する支配を安定させる点でも街道には大きな意味があったということだね。

(1) 会話中の には、当時の職業が当てはまります。その職業を何といたしますか。その名称を書きなさい。

(2) 花子さんは、中山道と参勤交代のかかわりについて調べ、次の資料を見付けました。花子さんは、資料を基に、中山道などに置かれた宿場は参勤交代のおかげで経済的に発展したと考えました。花子さんがそのように考えた理由を、資料を基に簡潔に書きなさい。

資料

加賀藩前田家の参勤交代

- ・加賀藩（石川県金沢市）から江戸までの距離と日数：約480km、約12泊13日
- ・1回の参勤交代で移動する人数：2,000～4,000人
- ・江戸との往復には、五街道のうち主に中山道を利用した。

3 太郎さんたちの班では、「岐阜県中津川市について」のメモを基に、この市を活性化するため提案をすることになりました。あなたならどのような提案をしますか。次の条件1・2に従って書きなさい。

条件1 メモを基に中津川市の魅力を挙げて書くこと。

条件2 この提案が、中津川市のどのような人々に対して、どのような効果をもたらすのかを、具体的に書くこと。

第 1 日
数 学

(11:50~12:40)

注 意

- 1 検査開始のチャイムがなるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の1ページから10ページに、問題が1から6まであります。
これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号

第 番

1 次の (1) ~ (8) に答えなさい。

(1) $4 + 6 \div (-3)$ を計算しなさい。

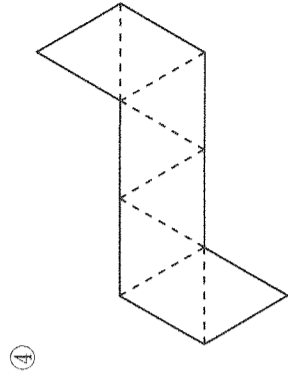
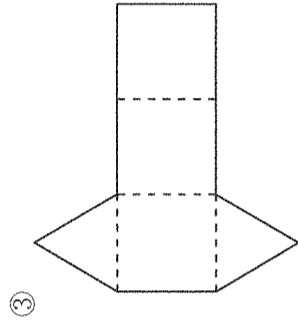
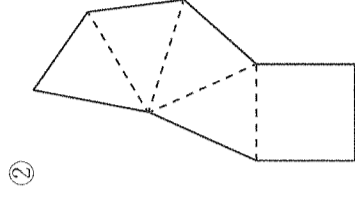
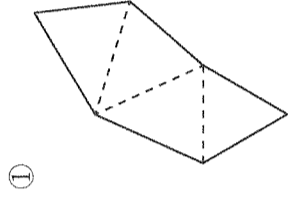
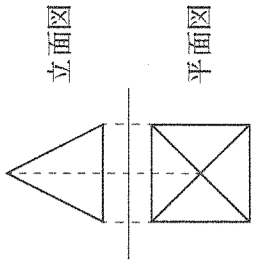
(2) $4(2x - y) - (7x - 3y)$ を計算しなさい。

(3) $x^2 + 3x - 28$ を因数分解しなさい。

(4) $(\sqrt{2} + \sqrt{7})^2$ を計算しなさい。

(5) 方程式 $4x^2 + 7x + 1 = 0$ を解きなさい。

(6) 右の図は、ある立体の投影図です。この立体の展開図として適切なものを、下の ①~④ の中から選び、その番号を書きなさい。



(7) 1 辺の長さが x cm の正三角形があります。この正三角形の間の長さを y cm とすると、 y は x に比例します。その比例定数を答えなさい。

(8) 正しく作られた大小 2 つのさいころを同時に 1 回投げるとき、出る目の数の和が 10 になる確率を求めなさい。

2 次の(1)～(3)に答えなさい。

(1) ある国語辞典があります。右の図は、この国語辞典において、見出し語が掲載されているページの一部です。Aさんは、この国語辞典に掲載されている見出し語の総数を、下の【手順】で標本調査をして調べました。

けんしよ	憲章	けんしよ	検証	けんしよ	健勝	けんしよ	肩章	けんしよ	敬書	けんしよ	原書
重要なおきて。原則的な法則	明すること。「仮説をすすめるため明瞭にのぞんで証拠	用いる。	と。また、そのさま。」の	などを示すし。	に。欧文の書翰。洋書	に。欧文の書翰。洋書	に。欧文の書翰。洋書	に。欧文の書翰。洋書	に。欧文の書翰。洋書	に。欧文の書翰。洋書	に。欧文の書翰。洋書

見出し語

【手順】

- (1) 見出し語が掲載されている総ページ数を調べる。
- (2) コンピュータの表計算ソフトを用いて無作為に10ページを選び、選んだページに掲載されている見出し語の数を調べる。
- (3) (2)で調べた各ページに掲載されている見出し語の数の平均値を求める。
- (4) (1)と(3)から、この国語辞典に掲載されている見出し語の総数を推測する。

Aさんが、上の【手順】において、(1)で調べた結果は、1452ページでした。また、(2)で調べた結果は、下の表のようになりました。

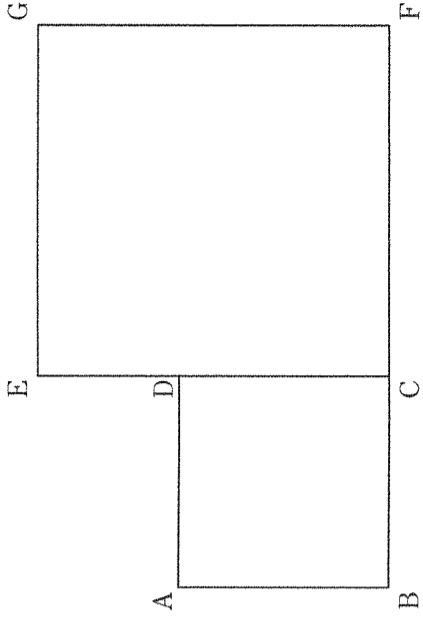
選んだページ	763	176	417	727	896	90	691	573	1321	647
見出し語の数	57	43	58	54	55	58	53	55	67	60

Aさんは、(3)で求めた見出し語の数の平均値を、この国語辞典の1ページあたりに掲載されている見出し語の数と考え、この国語辞典の見出し語の総数を、およそ 語と推測しました。

に当てはまる数として適切なものを、下の①～④の中から選び、その番号を書きなさい。

- ① 65000 ② 73000 ③ 81000 ④ 89000

(2) 下の図のように、1辺の長さが3cmの正方形ABCDと、1辺の長さが5cmの正方形EFCGがあり、点Dは辺EC上にあります。7つの点A、B、C、D、E、F、Gから2点を選び、その2点を結んでできる線分の中で、長さが $\sqrt{73}$ cmになるものを答えなさい。



(3) Aさんは、P地点から5200m離れたQ地点までウォーキングとランニングをしました。P地点から途中のR地点までは分速80mでウォーキングをし、R地点からQ地点までは分速200mでランニングをしたところ、全体で35分かかりました。P地点からR地点までの道のりとR地点からQ地点までの道のりは、それぞれ何mですか。なお、答えを求める過程も分かるように書きなさい。

3 中学生の結衣さんが住んでいる町には、遊園地があります。その遊園地には多くの人が来場し、人気があるアトラクション（遊園地の遊戯設備）にはいつも行列ができています。結衣さんは、姉で大学生の彩花さんと、次の日曜日又は学校行事の振替休日である次の月曜日のどちらかに、その遊園地と一緒に遊びに行くことについて話をしています。

結衣さん 「遊園地に遊びに行くのは、日曜日と月曜日のどちらがいいかな？」

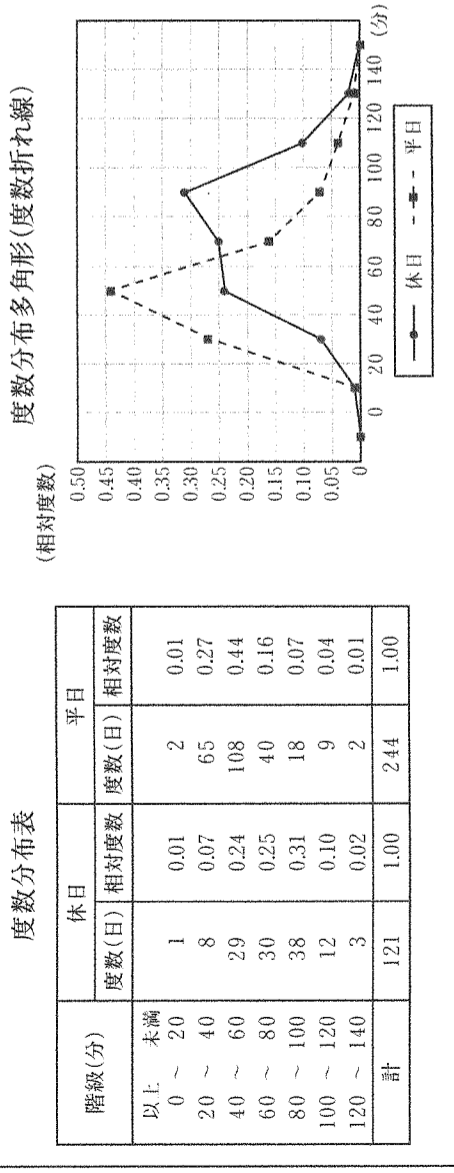
彩花さん 「私はどちらでもいいよ。」

結衣さん 「できるだけ多くの人気アトラクションを楽しみたいから、待ち時間が少しでも短い方がいいな。だから平日の月曜日の方がいいんじゃないかな。」

彩花さん 「そうだね。休日の方が遊園地に来場している人の数が多そうだから、平日の方が待ち時間が短そうだね。実際にどうなのか調べてみたらいいと思うよ。」

結衣さんは、遊園地についての情報が掲載されているウェブページから、過去1年間の休日と平日における人気アトラクションの平均待ち時間について調べ、下のように【まとめI】を作成しました。

【まとめI】過去1年間の休日と平日における人気アトラクションの平均待ち時間について



結衣さん 「【まとめI】の度数分布多角形から、やっぱり平日の方が休日よりも待ち時間が短そうだよ。」

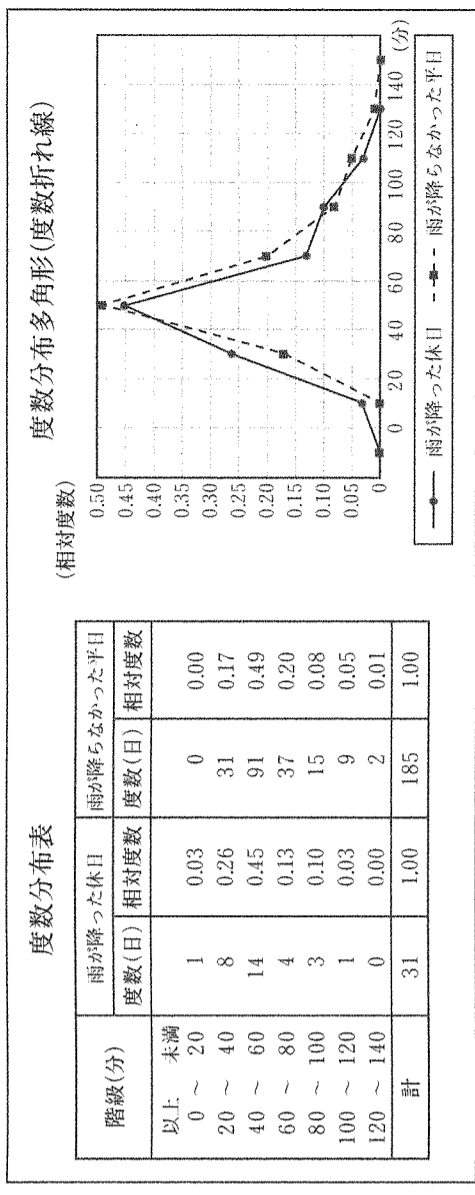
彩花さん 「そうだね。でも、天気予報によると次の日曜日は雨で、次の月曜日は雨が降らないよ。雨が降ったら休日でも待ち時間が短くなるんじゃない？」

結衣さん 「そうかもしれないね。遊びに行くのには雨が降らない方がいいけれど、私は待ち時間が少しでも短くなるのなら雨でもいいわ。」

彩花さん 「だったら、雨が降った休日と雨が降らなかった平日の平均待ち時間についても同じように調べた上で、どうするかを考えたらいいと思うよ。」

結衣さんは、過去1年間の雨が降った休日と雨が降らなかった平日における人気アトラクションの平均待ち時間についても同じように調べ、下のように【まとめII】を作成しました。

【まとめII】過去1年間の雨が降った休日と雨が降らなかった平日における人気アトラクションの平均待ち時間について



次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 【まとめI】において、過去1年間の休日ににおける人気アトラクションの平均待ち時間の最頻値は何分ですか。

(2) 結衣さんは、【まとめII】の度数分布多角形からは、はっきりとした違いが分からないと判断しました。そこで、人気アトラクションの平均待ち時間が40分未満の2つの階級の相対度数に着目し、下のように考えました。

【結衣さんが考えたこと】

人気アトラクションの平均待ち時間が40分未満の2つの階級の相対度数の合計を求めると、雨が降った休日は で、雨が降らなかった平日は であるから、天気予報どおりなら、次の の方が人気アトラクションの待ち時間が短くなりそうである。

【結衣さんが考えたこと】の ・ に当てはまる数をそれぞれ求めなさい。また、 に当てはまる言葉を、下の①・②の中から選び、その番号を書きなさい。

- ① 日曜日 ② 月曜日

4 佐藤さんは、数学の授業で、連続する2つの整数や連続する3つの整数について成り立つ性質を学習し、そのことをきっかけに、連続する4つの整数についても何か性質が成り立つのではないかと考え、調べています。

$$2, 3, 4, 5 \text{ について, } 5 \times 4 - 2 \times 3 = 14, 2 + 3 + 4 + 5 = 14$$

$$7, 8, 9, 10 \text{ について, } 10 \times 9 - 7 \times 8 = 34, 7 + 8 + 9 + 10 = 34$$

$$13, 14, 15, 16 \text{ について, } 16 \times 15 - 13 \times 14 = 58, 13 + 14 + 15 + 16 = 58$$

佐藤さんは、これらの結果から下のことを予想しました。

【予想】

連続する4つの整数について、大きい方から1番目の数と大きい方から2番目の数の積から、小さい方から1番目の数と小さい方から2番目の数の積を引いたときの差は、その連続する4つの整数の和に等しくなる。

次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 佐藤さんは、この【予想】がいつでも成り立つことを、下のように説明しました。

【説明】

連続する4つの整数のうち、小さい方から1番目の数を n とすると、連続する4つの整数は、 $n, n+1, n+2, n+3$ と表される。

したがって、連続する4つの整数について、大きい方から1番目の数と大きい方から2番目の数の積から、小さい方から1番目の数と小さい方から2番目の数の積を引いたときの差は、その連続する4つの整数の和に等しくなる。

【説明】の [] に説明の続きを書き、説明を完成させなさい。

(2) 佐藤さんは、連続する4つの整数について、ほかにも成り立つ性質がないかを調べたところ、下の【性質Ⅰ】が成り立つことが分かりました。

【性質Ⅰ】

連続する4つの整数について、小さい方から2番目の数と大きい方から1番目の数の積から、小さい方から1番目の数と大きい方から2番目の数の積を引いたときの差は、 [] の和に等しくなる。

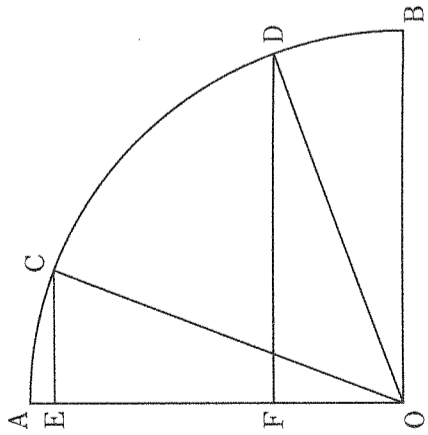
さらに、佐藤さんは、連続する5つの整数についても、小さい方から2番目の数と大きい方から1番目の数の積から、小さい方から1番目の数と大きい方から2番目の数の積を引いたときの差がどうなるのかを調べたところ、下の【性質Ⅱ】が成り立つことが分かりました。

【性質Ⅱ】

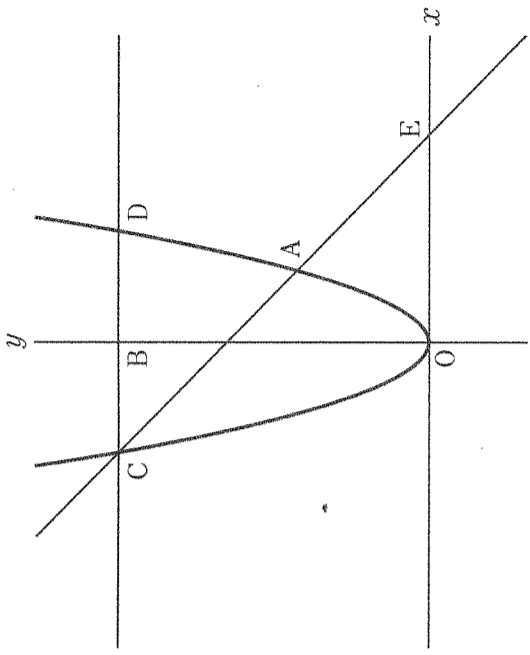
連続する5つの整数について、小さい方から2番目の数と大きい方から1番目の数の積から、小さい方から1番目の数と大きい方から2番目の数の積を引いたときの差は、 [] の和に等しくなる。

【性質Ⅰ】・【性質Ⅱ】の [] には同じ言葉が当てはまります。 [] に当てはまる言葉を書きなさい。

- 5 下の図のように、半径OA, OBと \widehat{AB} で囲まれたおうぎ形があり、 $\angle AOB = 90^\circ$ です。
 \widehat{AB} 上に、2点C, Dを $\widehat{AC} = \widehat{BD}$ となるようにとります。点C, Dから半径OAに垂線CE, DFをそれぞれ引きます。このとき、 $\triangle COE \cong \triangle ODF$ であることを証明しなさい。



- 6 下の図のように、関数 $y = x^2$ のグラフ上に点A (2, 4), y 軸上に y 座標が 4 より大きい範囲で動く点Bがあります。点Bを通り x 軸に平行な直線と、関数 $y = x^2$ のグラフとの2つの交点のうち、x 座標が小さい方をC, 大きい方をDとします。また、直線CAと x 軸との交点をEとします。



次の(1)・(2)に答えなさい。

- (1) 点Eの x 座標が 5 となるとき、 $\triangle AOE$ の面積を求めなさい。
 (2) $CA = AE$ となるとき、直線DEの傾きを求めなさい。

第 2 日 理 科

(9:00~9:50)

注 意

- 1 検査開始のチャイムがなるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の 1 ページから 11 ページに、問題が **1** から **4** まであります。
これとは別に解答用紙が 1 枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号

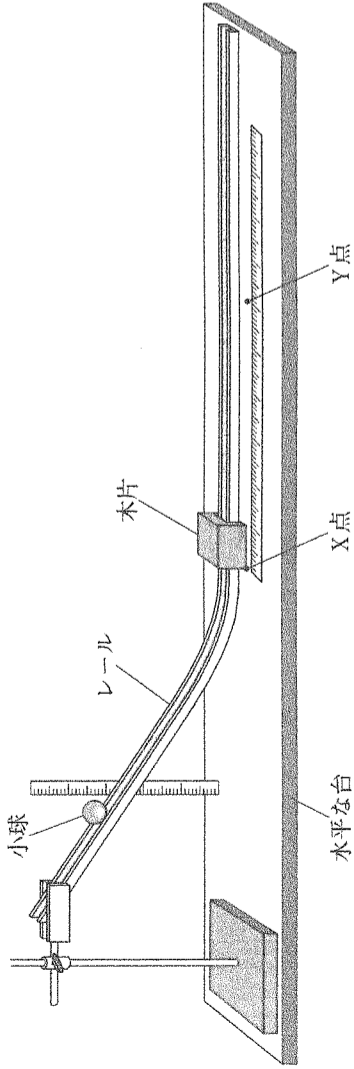
第

番

- 1 ある学級の理科の授業で、成美さんたちは、小球を斜面から転がし、木片に当てて、木片が移動する距離を調べる実験をして、それぞれでレポートにまとめました。次に示した【レポート】は、成美さんのレポートの一部です。あとの1～5に答えなさい。

【レポート】

《装置》



〔方法〕

- I 上の図のように装置を組み立て、水平な台の上に置く。
- II この装置を用いて、質量が20.0gと50.0gの小球を、10.0cm、20.0cm、30.0cmの高さからそれぞれ静かに転がし、X点に置いた木片に当てる。
- III 小球が木片に当たり、木片が移動した距離をはかる。
- IV 小球の高さと、木片が移動した距離との関係を表に整理し、グラフに表す。

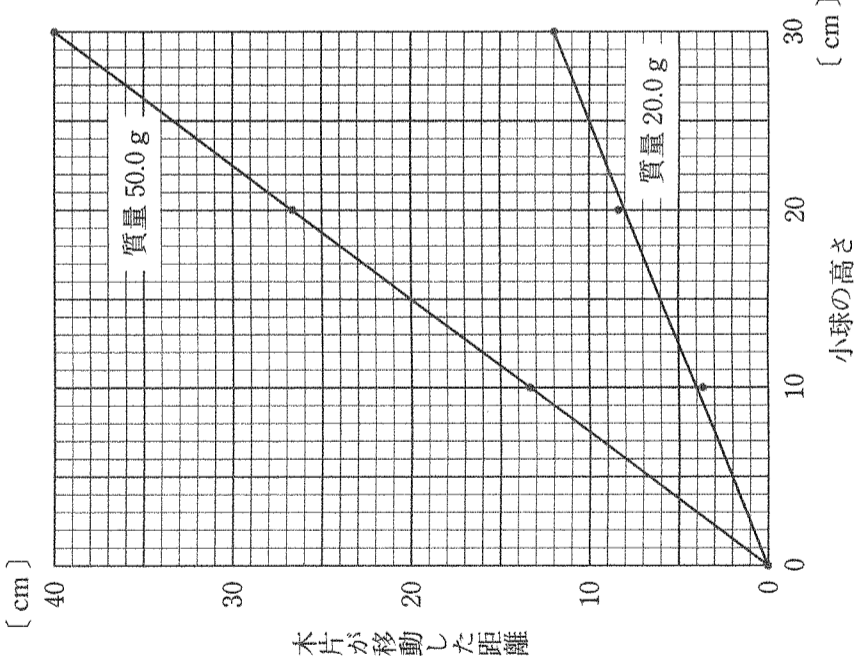
〔結果〕

小球の質量が20.0gのとき

小球の高さ [cm]	10.0	20.0	30.0
木片が移動した距離 [cm]	3.6	8.3	12.0

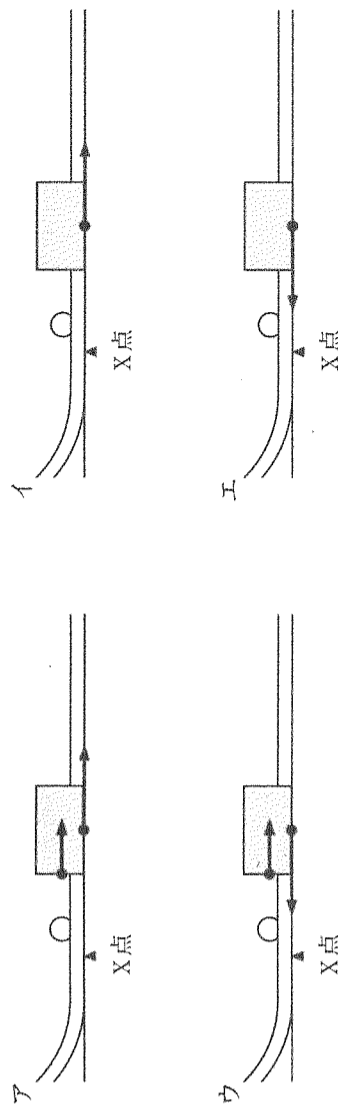
小球の質量が50.0gのとき

小球の高さ [cm]	10.0	20.0	30.0
木片が移動した距離 [cm]	13.3	26.7	40.0



- 1 〔方法〕の下線部について、質量50.0gの小球の重さは何Nですか。また、水平な台の上にある質量50.0gの小球を、水平な台の上から20.0cmの高さまで持ち上げる仕事の量は、何Jですか。ただし、質量100gの物体に働く重力の大きさを1Nとします。

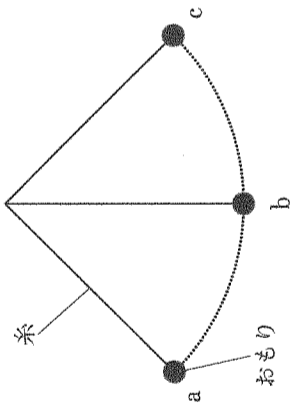
2 右の図は、この装置を用いて実験したときの、小球と木片の様子を模式的に示したものです。右の図中の矢印は、小球が当たった後の木片の移動の向きを示しています。木片が右の図中の矢印の方向へ移動しているとき、木片に働く水平方向の力を矢印で表すとどうなりますか。次のア～エの中から適切なものを選び、その記号を書きなさい。



- 3 〔結果〕のグラフから、質量20.0gの小球を30.0cmの高さから静かに転がしたときの木片の移動距離と同じ距離だけ木片を移動させるためには、質量50.0gの小球を何cmの高さから静かに転がせばよいかと考えられますか。その値を書きなさい。

- 4 成美さんたちは、木片を置く位置を《装置》のX点からY点に変えて、質量20.0gの小球を10.0cmの高さから静かに転がし、Y点に置いた木片に当てる実験をしました。このとき、木片が移動した距離は、X点に木片を置いて実験したときの3.6cmよりも小さくなりました。それはなぜですか。その理由を簡潔に書きなさい。

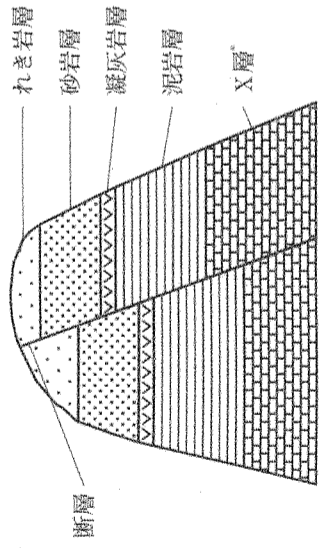
5 成美さんたちは、授業で学んだことを基に、ふりこについて考えることにしました。右の図は、ふりこのおもりを、糸がたるまないようにa点まで持ち上げ静かに手を離し、おもりがb点を通り、a点と同じ高さのc点まで上がった運動の様子を模式的に示したものです。次のア～オの中で、図中のおもりがもつエネルギーの大きさについて説明している文として適切なものはどれですか。その記号を全て書きなさい。ただし、糸は伸び縮みしないものとし、おもりがもつ位置エネルギーと運動エネルギーはそれらのエネルギー以外には移り変わらな



- ア a点とb点のおもりがもつ運動エネルギーの大きさを比べると、b点の方が大きい。
- イ b点とc点のおもりがもつ運動エネルギーの大きさを比べると、同じである。
- ウ b点とc点のおもりがもつ位置エネルギーの大きさを比べると、b点の方が大きい。
- エ a点とc点のおもりがもつ位置エネルギーの大きさを比べると、同じである。
- オ a点とb点とc点のおもりがもつ力学的エネルギーの大きさを比べると、全て同じである。

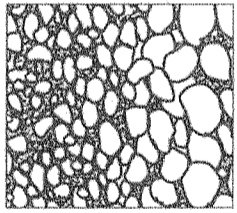
問題は、次のページに続きます。

2 図1は、あるがけに見られる地層の様子が模式的に示されたものです。あと
の1～5に答えなさい。



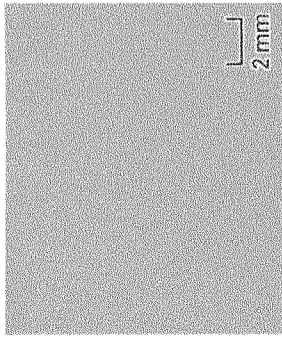
1 図2は、図1のれき岩層を観察し、スケッチしたものです。このスケッチに示された粒の形には、丸みを帯びたものが多く見られます。このような形になるのはなぜですか。その理由を簡潔に書きなさい。

図2

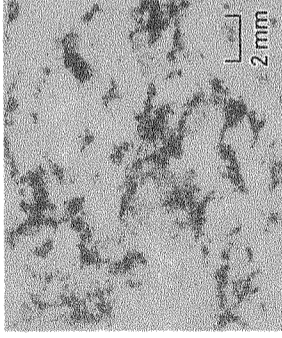


2 次のア～エは、花こう岩、安山岩、砂岩、泥岩のいずれかの表面の様子を撮影したものです。図1中の砂岩層の砂岩を示しているものはどれですか。ア～エの中から最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。

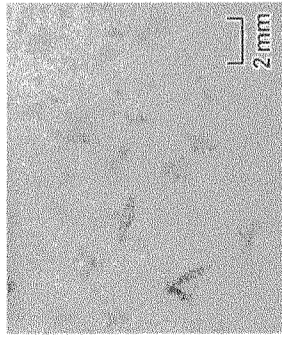
ア



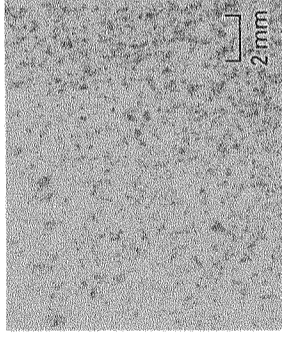
イ



ウ



エ



3 図1中のX層の岩石には、砂岩や泥岩などに見られる特徴が観察されなかったため、「X層の岩石は石灰岩である」という予想を立てました。そして、この予想を確かめるために、X層の岩石にうすい塩酸を2、3滴かける実験を行いました。この予想が正しい場合、この実験はどのような結果になりますか。簡潔に書きなさい。

4 図1の断層は、図1中のそれぞれの層ができた後に生じたものと考えられます。そのように考えられる理由として適切なものを、次のア～エの中から2つ選び、その記号を書きなさい。

ア 断層の右と左で、れき岩層の厚さが異なっている。

イ 断層の右と左で、それぞれの層の下からの順番が同じである。

ウ 断層の右と左のどちらも、それぞれの層の境目がはつきりと分かれている。

エ 断層の右と左で、砂岩層、凝灰岩層、泥岩層のそれぞれの層の厚さが同じである。

5 次の文章は、先生と生徒が図1を見ながら話したときの会話の一部です。下の(1)・(2)に答えなさい。

先生：図1は、あるがけに見られる地層の様子を模式的に示したものです。この地層の中に、離れた地域の地層を比較するのに役立つかぎ層があります。それはどの層でしょうか。

美子：A層です。

先生：なぜ、その岩石の層は、離れた地域の地層を比較することに役立つのでしょうか。

美子：AはBからできており、BはCにわたって降り積もるので、地層の広がりを知ることがわかります。

先生：その通りです。

海斗：先生、そのほかに、図1を見て不思議に思うことがあります。

先生：何ですか。

海斗：図1の地層全体をみると、下になるほど粒が小さくなるはずなのに、なぜですか。普通は、下になるほど粒が大きくなるはずなのに、なぜですか。

先生：よく気が付きましたね。その疑問を解決するためには、図1の地層ができた場所の環境の変化に着目して考えようというです。

海斗：そうか。泥岩層が下側にあつて、れき岩層が上側にあることから、泥岩層の方がD

図1の地層ができた場所は水深がだんだんとEなつてきたと考えられるね。その理由は、粒の大きさが大きいほど、河口からFところに堆積するからだよね。

先生：そうですね。地層の見方が分かれば、大地の歴史が分かりますね。

(1) 会話中のAに当てはまる岩石の種類は何ですか。その名称を書きなさい。また、B・Cに当てはまる語句をそれぞれ書きなさい。

(2) 会話中のD～Fに当てはまる語として適切なものを、それぞれ次のア・イから選び、その記号を書きなさい。

D	ア	新しく	イ	古く
E	ア	浅く	イ	深く
F	ア	近い	イ	遠い

③ 科学部の翔太さんたちは、山へ野外観察に行き、見たことがない生物を見つけて観察しました。右の図は、そのとき翔太さんがスケッチしたものです。次に示した【会話】は、このときの先生と生徒の会話の一部です。あとの1～4に答えなさい。



【会話】

翔太：この生物って、どの動物の仲間なのかな。

先生：しっかりと観察して、その結果をノートにまとめて、みんなで考えてみましょう。

ノートのまとめ

- ・背骨がある。
- ・あしがある。
- ・うろこがない。
- ・体表の温度が気温とほぼ同じである。

先生：このノートのまとめを見て、皆さんはどの動物の仲間だと思いますか。

翔太：背骨があるということは、①無セキツイ動物ではなくセキツイ動物ですね。

希実：見た目がトカゲに似ているから、私はハチュウ類だと思うわ。

翔太：僕はノートのまとめから考えて、②この生物はハチュウ類ではないと思うよ。両生類じゃないかな。

希実：この生物が両生類であるとする、ほかにどんな特徴が観察できるかな。

翔太：③子のうまれ方も特徴の一つだよね。

先生：そうですね。では、図鑑を使ってこの生物を何というのか調べてみましょう。

希実：図鑑から、きつとブチサンショウウオオだと思うわ。今まで、このような生物なんて見たことがなかったわ。私たちの周りにはたくさん種類の生物がいるよね。なぜかな。

先生：それは、④生物が長い年月をかけて、さまざまな環境の中で進化してきたからだといわれています。

1 下線部①について、無セキツイ動物の仲間には、軟体動物がいます。軟体動物の体の特徴を次の(ア)・(イ)から選び、その記号を書きなさい。また、次の(ウ)～(キ)の中で、軟体動物はどれですか。その記号を全て書きなさい。

体の特徴	(ア) 外骨格	(イ) 外とう膜			
生物名	(ウ) バッタ	(エ) アサリ	(オ) クモ	(カ) イカ	(キ) メダカ

2 下線部②について、翔太さんがこの生物はハチュウ類ではないと考えた理由を、ノートのまとめを基に、簡潔に書きなさい。

3 下線部③について、次の(ア)～(オ)のセキツイ動物の仲間の中で、殻のない卵をうむ仲間は何ですか。その記号を全て書きなさい。

- (ア) ホニュウ類 (イ) 鳥類 (ウ) ハチュウ類 (エ) 両生類 (オ) 魚類

4 下線部④に関して、次の(1)～(3)に答えなさい。

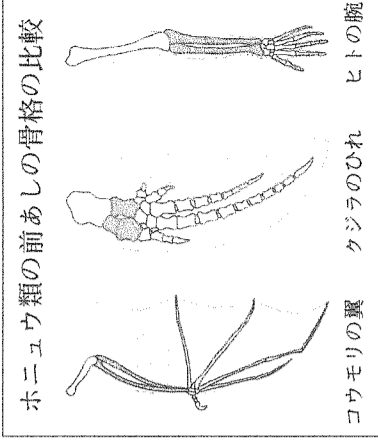
(1) 生物が進化したことを示す証拠として、重要な役割を果たしたものに化石があります。次の資料は、シソチョウの化石についてまとめたものです。資料中の[A]～[D]に当てはまる特徴はそれぞれ何ですか。資料中の「特徴」のA～Eの中からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

[シソチョウの化石]

[特徴] ア 口には菌がある
 イ 体全体が羽毛でおおわれている
 ウ 前あしが翼になっている
 エ 前あしの先にはつめがある

[シソチョウの化石が進化の証拠だと考えられる理由]
 [A] という特徴と [B] という特徴は現在のハチュウ類の特徴で、[C] という特徴と [D] という特徴は現在の鳥類の特徴であり、ハチュウ類と鳥類の両方の特徴をもつことから、シソチョウの化石は進化の証拠であると考えられる。

(2) 生物が進化したことを示す証拠は、現存する生物にも見られます。右の資料は、ホニュウ類の前あしの骨格を比べたものです。これらは相同器官と呼ばれ、進化の証拠だと考えられています。次の文章は、このことについて説明したものです。文章中の[X]・[Y]に当てはまる語をそれぞれ書きなさい。また、[Z]に当てはまる内容として適切なものを、下のA～Eの中から選び、その記号を書きなさい。



資料中のホニュウ類の前あしを比べてみると、形やはたらきは [X] のに、骨格の基本的なつくりは [Y] ことから、これらはもとは同じ器官であったと推測できる。このような器官のことを相同器官といい、相同器官の存在から、現在のホニュウ類は、[Z] といえる。

ア 地球上にほぼ同じころ出現した イ どのような環境でも生活することができる
 ウ 陸上での生活に適した形をしている エ 共通の祖先が変化して生じたものである

(3) 生物は環境と密接な関係の中で生きています。ある生物が生きていた場所の当時の環境を推定することができる化石を示相化石といい、その例としてサンゴの化石があります。ある場所でサンゴの化石が見付かったとき、そのサンゴが生きていた場所の当時の環境は、どのような環境だったと推定できますか。簡潔に書きなさい。

4 ある学級の理科の授業で、雅人さんたちは、化学変化の前後における物質の質量の変化を調べる実験をして、それぞれレポートにまとめました。次に示した【レポート】は、雅人さんのレポートの一部です。あとの1～5に答えなさい。

【レポート】

◆実験1

〔方法〕

- I うすい硫酸 20 cm^3 と うすい水酸化バリウム水溶液 20 cm^3 を別々のビーカーに入れ、その2つのビーカーの質量をまとめて電子てんびんではかる(図1)。
- II うすい硫酸が入っているビーカーにうすい水酸化バリウム水溶液を加え、反応の様子を観察する。
- III 反応後、2つのビーカーの質量をまとめて電子てんびんではかる(図2)。

図1

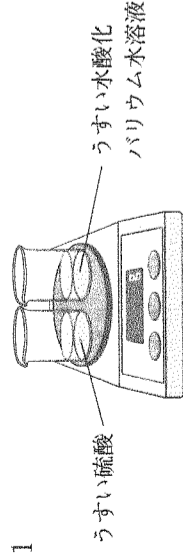
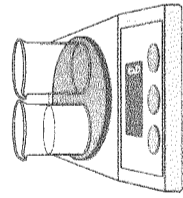


図2



〔結果〕

- ・2つの水溶液を混合すると、白い沈殿ができた。

反応前	反応後
2つのビーカーの質量の合計	100.94 g
	100.94 g

〔考察〕

- ・反応の前後で、2つのビーカーの質量の合計は変化しなかった。
- ・この反応を化学反応式で表すと、 $\text{H}_2\text{SO}_4 + \text{Ba}(\text{OH})_2 \rightarrow \text{BaSO}_4 + 2\text{H}_2\text{O}$ となり、白い沈殿は **A** だと考えられる。

◆実験2

〔方法〕

- I プラスチック容器の中にうすい塩酸 15 cm^3 が入った試験管と、炭酸水素ナトリウム 0.50 g を入れて、ふたをしつかりと閉め、容器全体の質量を電子てんびんではかる(図3)。
- II プラスチック容器を傾けて、うすい塩酸と炭酸水素ナトリウムを混ぜ合わせ、反応させる。
- III 反応後、プラスチック容器全体の質量を電子てんびんではかる(図4)。

図3

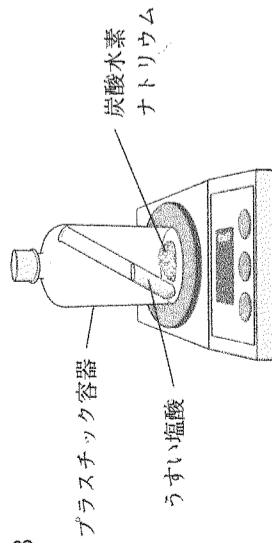
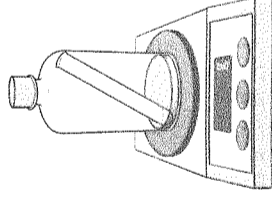


図4



〔結果〕

- ・炭酸水素ナトリウムとうすい塩酸を混合すると、気体が発生した。

	反応前	反応後
プラスチック容器全体の質量	81.88 g	81.88 g

〔考察〕

- ・反応の前後で、プラスチック容器全体の質量は変化しなかった。
- ・この反応を化学反応式で表すと、 $\text{NaHCO}_3 + \text{HCl} \rightarrow \text{B} + \text{H}_2\text{O} + \text{CO}_2$ となり、発生した気体は二酸化炭素だと考えられる。

1 実験1の〔方法〕の下線部について、この2つの水溶液を混合すると、互いの性質を打ち消し合う反応が起こります。このような反応を何といいますか。その名称を書きなさい。

2 実験1の〔考察〕の **A** に当てはまる物質は何ですか。その物質の名称を書きなさい。また、実験2の〔考察〕の **B** に当てはまる物質は何ですか。その物質の化学式を書きなさい。

3 実験1・2の結果から分かるように、化学変化の前後で物質全体の質量は変わりません。この法則を何といいますか。その名称を書きなさい。また、次の文章は、この法則が成り立つことについて雅人さんと博史さんが話したときの会話の一部です。会話中の **X** ・ **Y** に当てはまる語をそれぞれ書きなさい。

雅人：以前、化学反応式のつくり方を学んだよね。そのとき、化学反応式は反応前の物質と反応後の物質を矢印で結び、その矢印の左側と右側で、原子の **X** と **Y** は同じにしたよね。

博史：そうか。化学変化の前後で、原子の組み合わせは変わるけど、原子の **X** と **Y** が変わらないから、化学変化の前後で物質全体の質量は変化しないんだね。

4 実験2の〔方法〕IIIの後、プラスチック容器のふたをゆっくりと開けて、もう一度ふたを閉めてからプラスチック容器全体の質量を再びはかると、質量はどうなりますか。次のア～ウの中から適切なものを選び、その記号を書きなさい。また、その記号が答えとなる理由を簡潔に書きなさい。

- ア 増加する イ 減少する ウ 変わらない

5 雅人さんたちは、その後の理科の授業で、金属を空气中で熱して酸素と化合させたとき、加熱後の物質の質量がどのように変化するのかを調べる実験をしました。次に示したものは、その方法と結果です。下の(1)～(3)に答えなさい。

〔方法〕

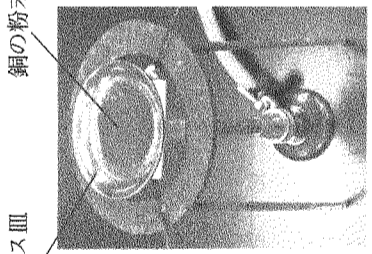
I ステンレス皿の質量をはかった後、銅の粉末 1.00 g をステンレス皿に入れる。

II 右の写真のように、ステンレス皿に入っている銅の粉末をガスバーナーで5分間加熱する。

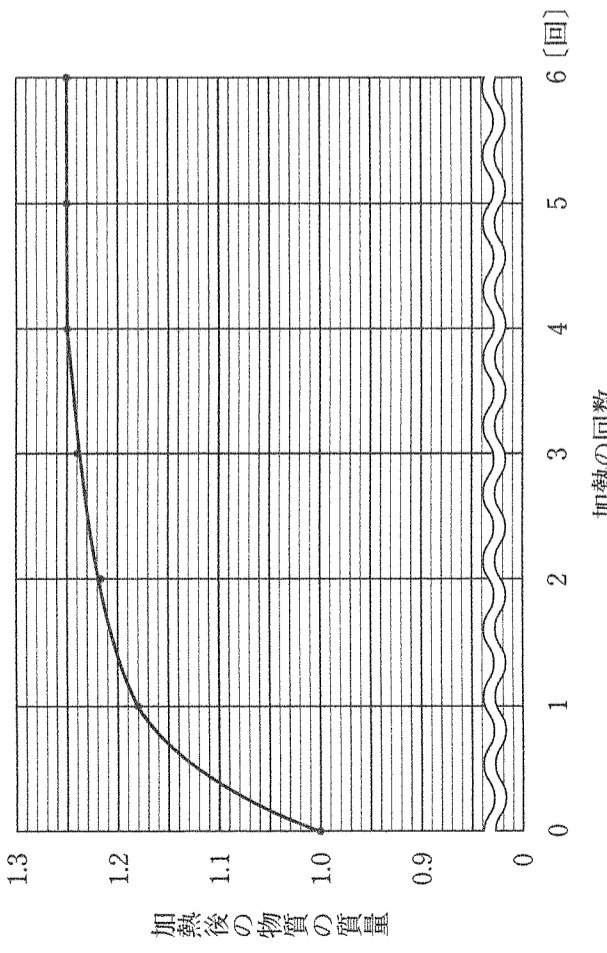
III よく冷ました後、ステンレス皿全体の質量をはかる。

IV II・IIIの操作を6回繰り返す。

V 結果をグラフに表す。



〔結果〕 [g]



加熱の回数	加熱後の物質の質量 [g]
0	1.00
1	1.05
2	1.10
3	1.14
4	1.16
5	1.17
6	1.18

(1) 〔結果〕のグラフから、1回目の加熱で、銅に化合した酸素の質量は何gだと考えられますか。次のア～エの中から適切なものを選び、その記号を書きなさい。

- ア 0.18 イ 0.25 ウ 1.18 エ 1.25

(2) 〔結果〕のグラフについて、加熱を繰り返すと、ある加熱の回数から、加熱後の物質の質量が変化しなくなりました。加熱後の物質の質量が変化しなくなった理由を、簡潔に書きなさい。

(3) 雅人さんたちは、この実験を、銅の粉末の質量を 1.00 g から 0.80 g に変えて行いました。その結果、1.00 g のときと同じように、ある加熱の回数から、加熱後の物質の質量が変化しなくなりまりました。このとき、銅に化合した酸素の質量は何gだと考えられますか。〔結果〕のグラフを基に求め、その値を書きなさい。

第 2 日

英 語

(10:10~11:00)

注 意

- 1 検査開始のチャイムがなるまで開いてはいけません。
- 2 最初に、放送による聞き取りテストを行います。検査開始のチャイムがなつたらすぐに **英—1** ページを開きなさい。
- 3 受検番号は、放送による聞き取りテストの終了後に、問題用紙と解答用紙の両方に記入しなさい。
- 4 問題用紙の 1 ページから 11 ページに、問題が **1** から **4** まであります。これとは別に解答用紙が 1 枚あります。
- 5 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

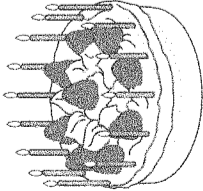
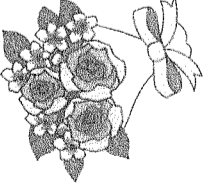
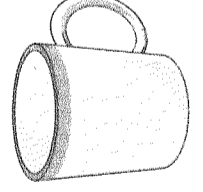
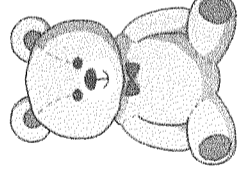
受検番号

第

番

問題B これから放送する英文は、英語の授業で、先生がクラスの生徒に対して話したときのものです。先生の質問に対して、あなたならどのように答えますか。あなたの答えを英文で書きなさい。なお、2文以上になっても構いません。

1 放送を聞いて答えなさい。
 問題A これから、No.1～No.4まで、対話を4つ放送します。それぞれの対話を聞き、そのあとに続く質問の答えとして最も適切なものを、ア～エの中から選んで、その記号を書きなさい。

No.1	ア 	イ 	ウ 	エ 
No.2	ア 1 理科 2 英語 3 体育 4 国語 昼休み 5 数学 6 音楽	イ 1 体育 2 英語 3 数学 4 音楽 昼休み 5 国語 6 理科	ウ 1 数学 2 英語 3 国語 4 音楽 昼休み 5 体育 6 理科	エ 1 国語 2 英語 3 数学 4 理科 昼休み 5 体育 6 音楽
No.3	ア Two days. イ Three days. ウ Four days. エ Five days.			
No.4	ア To do volunteer work. イ To meet Ryoma. ウ To play baseball. エ To read some books.			

② 次の会話は、高校生の香里、ポール、翔太が、地域で開催される国際交流イベントの企画委員として、その内容について話し合ったときのものです。また、グラフ1～3は、そのとき香里たちが用いたものの一部です。これらに関して、あとの1～5に答えなさい。

Kaori : We are going to have the Tokyo Olympics and Paralympics soon. I can't wait!
 Paul : Many people will come to Japan from abroad, so Japanese people will have a chance to introduce Japanese culture to the people who will visit Japan.
 Shota : Next month, our town will also hold an international sports event. Local people and people from other countries will join the event. Our town asked us to decide what food to serve at the food stand to the people at the event.

Paul : That's right, Shota. We have some information about what food to serve.
 Shota : Do you know that the main purpose of foreign people visiting Japan is to eat Japanese food? Look at Graph 1. About A % of the foreign people answered "I wanted to eat Japanese food before coming to Japan."

Paul : Now Japanese food is very popular around the world. I hear that the number of Japanese restaurants around the world doubled in five years after traditional Japanese cuisine was registered as a UNESCO's Intangible Cultural Heritage in 2013.

Kaori : That means B . I hope we can tell foreign people at the event about Japanese culture through the food we'll serve.

Paul : I agree with you, Kaori. Let's choose the food from popular Japanese food.
 Shota : Yes. But what Japanese food is popular among foreign people visiting Japan? Is it *sushi* or *tempura*?

Kaori : I've brought Graph 2 and Graph 3. In Graph 2, we can see that the meat dishes are the most popular and *ramen* is also very popular among the foreign people.

Shota : *Ramen*? I thought *ramen* was Chinese food.

Kaori : In many places in Japan, there are many kinds of special *ramen* with local ingredients. I hear that we can enjoy local food culture when we eat *ramen*.

Paul : My American friends and I think *ramen* is Japanese food. *Ramen* is one of my favorite Japanese foods.

Shota : I see. Then, ① I think (call can food Japanese *ramen* we) .

Paul : Graph 2 shows that *sushi* is also very popular among the foreign people.

Kaori : Oh, now I remember! I got a letter from the town. It says that we can't serve raw food.

Paul : Then, we can't serve *sushi* for the event, right?

Kaori : That's right, Paul.

Shota : I like *okonomiyaki*. Is *okonomiyaki* popular among the foreign people?

Kaori : *Okonomiyaki* is a flour dish, so from Graph 2, I don't think it is very popular.

Paul : What does Graph 3 show about the flour dishes, Shota?

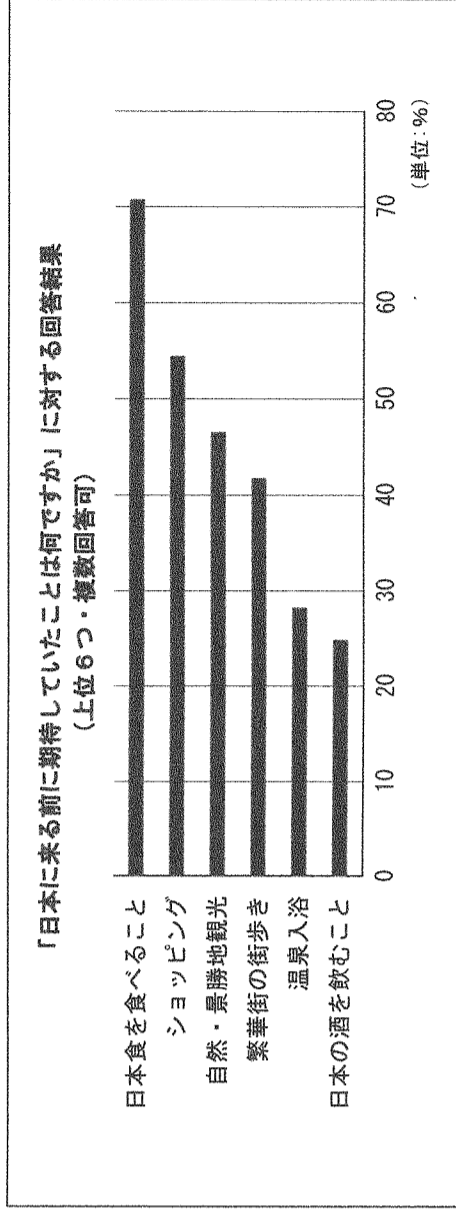
Shota : Well, the foreign people who liked the flour dishes were asked why they liked those dishes. About 40% of the answers are that they are traditional and unique to Japan. We can think about that point when we decide what food we'll serve.

Paul : OK. Then, ② what food should we choose for the people joining the event?

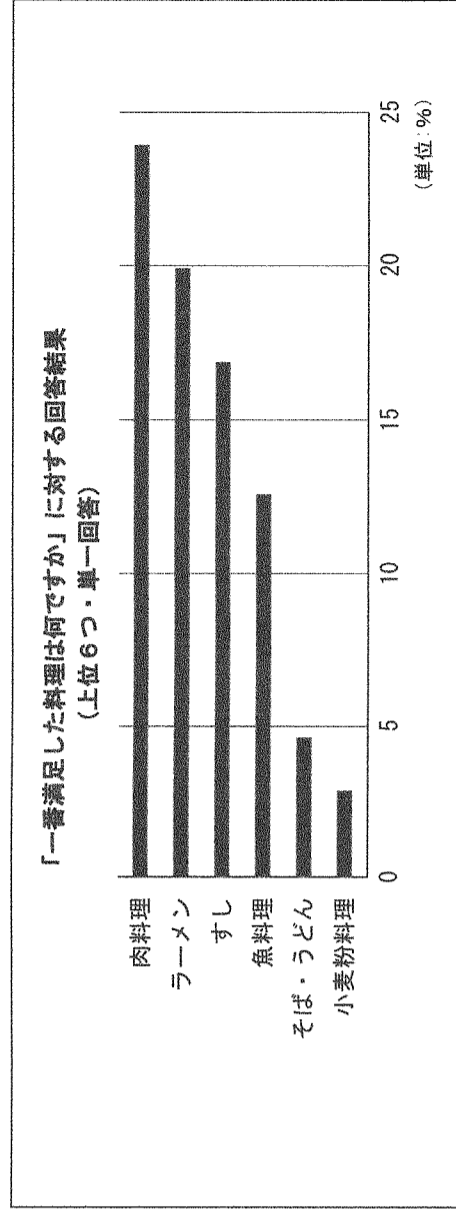
Shota : Let's talk about it more.

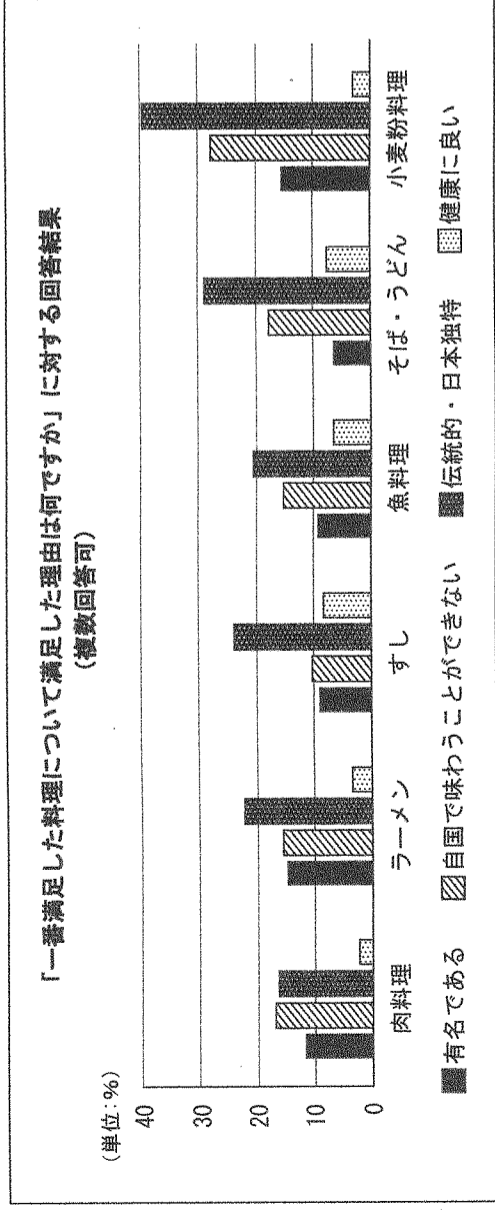
(注) local 地元の serve (料理を) 出す stand 屋台 purpose 目的
 double 2倍になる cuisine 料理 register 登録する
 UNESCO's Intangible Cultural Heritage ユネスコ無形文化遺産 meat 肉
 ingredient 材料 raw 生の flour 小麦粉 unique 特有の

グラフ1



グラフ2





(グラフ1～3 観光庁「訪日外国人の消費動向 2018年 年次報告書」による。)

1 本文中の に当てはまる最も適切な数字を, 次のア～エの中から選び, その記号を書きなさい。

- ア 40 イ 45 ウ 55 エ 70

2 本文中の に当てはまる最も適切な英語を, 次のア～エの中から選び, その記号を書きなさい。

- ア we are going to have the Olympics and Paralympics in Tokyo
 イ many people around the world have more chances to eat Japanese food now
 ウ people in the town and from other countries will enjoy our town's event
 エ *sushi* and *tempura* are the most popular Japanese foods among foreign people

3 本文中の下線部①が意味の通る英語になるように, () 内の語を並べかえて, 英語を完成しなさい。

4 次のメモ1は, 本文で示されている話し合いをするために, ポールが事前に準備したものの一部です。このメモ1中の に適切な語を2語補って, メモ1を完成しなさい。また, メモ2は, 本文で示されている話し合いの内容をポールがまとめたものの一部です。このメモ2中の ~ に当てはまる最も適切な英語を, あとのア～カの中からそれぞれ選び, その記号を書きなさい。ただし, 文頭に来る語も小文字で示されています。

Traditional Japanese cuisine : Registered as a UNESCO's Intangible Cultural Heritage in 2013

The number of around the world : About 55,000 in 2013



About 118,000 in 2017

: My favorite food

It is among the foreign people visiting Japan.

: Shot's favorite food

It is among the foreign people visiting Japan.

ア *okonomiyaki*

イ *ramen*

ウ *sushi*

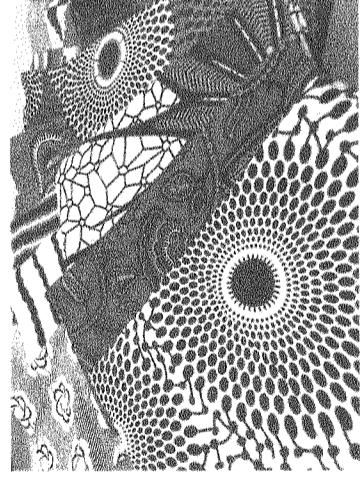
エ not very popular

オ the most popular

カ very popular

5 本文中の下線部②について, このイベントが, 現在あなたが住んでいる町で開催されるとしたら, あなたはどのような料理を選ぶべきだと考えますか。本文の内容に基づいて, 具体的な料理を1つ挙げ, それを挙げた理由を含めて, あなたの考えを25語程度の英文で書きなさい。なお, 2文以上になっても構いません。

【3】 次の英文は、アフリカで活躍する実業家の美紀について、国際協力に関わる組織の広報誌に掲載された記事の一部です。これに関して、あとの1～6に答えなさい。



When you create something new and wonderful, what do you need? Many of us think we need a great idea. Then, what else do we need? Miki Yamamoto said, "I also need people I can trust and get to the same goal together." She is successful in business and now lives in Nigeria. How did she create great products in Nigeria?

【あ】 Miki studied about problems in Africa in her university days. She always thought about how to help poor people there. After university, she started working in Nigeria for people who needed help.

In Nigeria, she often went to markets and enjoyed seeing new things. At a market, she became interested in African fabric. There were many beautiful patterns, and she never saw such patterns in Japan. When she saw it, she thought, "I can use this fabric to help in Nigeria!"

【い】 Miki saw many kinds of clothes made of African fabric in the markets in Nigeria, but she couldn't find any clothes designs Japanese people liked. She thought, "Then, I will make and sell clothes Japanese people want to buy!" However, she didn't have any skills to make clothes, so she decided to hire people in Nigeria.

Miki started working with two women in Nigeria. The women had to work and make money for their children. Miki was glad to give them a place to work because she thought it was one way to solve problems in Africa. Miki wanted to make this business successful for the two women. Miki told them, "Let's make clothes for Japanese people with beautiful African fabric together."

【う】 Miki and the two women started making clothes for Japanese people. At first, Miki couldn't pay them enough money. Miki said, "I am sorry that I can't pay you enough." Then, one woman said, "Miki, we are proud of our work. African fabric is a symbol of our culture. We really want Japanese people to wear clothes made of it." The two women smiled at Miki. ① Miki was very happy to know that they were working for the same goal.

【え】 Miki kept asking her Japanese friends for advice about the clothes they were making. The two women studied popular Japanese clothes designs. Finally, Miki and the two women created beautiful clothes.

【お】 Miki opened a small store in Nigeria to sell their products. She also made a website to introduce and sell their clothes on the Internet. Soon, Japanese people became interested in their clothes through the Internet.

Now this business is successful, and Miki and the two women are very proud of their business. When Miki was asked why her business was successful, she answered, "It was successful because I saw beautiful African fabric and got a great idea to make clothes for Japanese people. But the most important thing is that I could meet people who worked very hard with me for the same goal." Miki and the two women are now very excited to think about creating new products for the people around the world.

(注) trust 信頼する goal 目標 successful 成功した business 事業

Nigeria ナイジェリア (アフリカ西部の国) product 製品
 university 大学 market 市場 fabric 布 pattern 模様, 柄
 design デザイン skill 技術 hire 雇う solve 解決する
 pay 支払う be proud of ～ ～を誇りに思う symbol 象徴

1 次の (1)・(2) に対する答えを、英文で書きなさい。

(1) What did Miki study about when she was a university student?

(2) Where did Miki open a small store to sell her products?

2 本文中の に適切な語を1語補って、英文を完成しなさい。

3 本文中の下線部①について、その理由を表している最も適切な英文を、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

ア Miki knew that the two women could make enough money for their children.

イ Miki knew that African fabric was a symbol of the two women's culture.

ウ Miki knew that the two women wanted Japanese people to wear clothes made of African fabric.

エ Miki knew that the two women studied popular Japanese clothes designs to create clothes made of African fabric.

4 次の英文は、本文中から抜き出したものです。この英文を入れる最も適切なところを本文中の【あ】～【お】の中から選び、その記号を書きなさい。

Miki and the two women tried to create new clothes designs every day.

5 次のア～エの中で、本文の内容に合っているものを全て選び、その記号を書きなさい。

- ア Miki saw many beautiful patterns of African fabric when she was in Japan.
- イ Miki didn't find any clothes designs Japanese people liked at the markets in Nigeria.
- ウ Miki asked her Japanese friends for advice to make beautiful clothes with African fabric.
- エ Miki thought her business was successful because she had the skill to make clothes.

6 次の対話は、英語の授業で、生徒がペアになって本文の内容について話したときのものです。詩織からの質問に対して、あなたが主太ならどのような答えますか。この対話中の (1) ・ (2) に、あなたの答えをそれぞれ英文で書いて、対話を完成しなさい。なお、それぞれ2文以上になっても構いません。

Shiori : Miki said that there were two things she needed to create great products.

What else do you need to create something new? Please tell me your own ideas.

Keita : (1)

Shiori : I see. Why do you think so?

Keita : (2)

問題は、次のページに続きます。

4 次のイラストと英文は、高校生の恵と留学生のボブが、家庭での時間の過ごし方について話したときのものです。①～⑥の順に対話が自然につながるように、
 A C C に英語を書いて、対話を完成しなさい。ただし、
 C については、15語程度で書きなさい。

Last night ...

① Megumi, you look very sad. What happened to you?

② Oh, Bob. Last night, my mother A because B.

③ When I entered high school, I made rules with my family about how to spend time at home. How about making your own rules?

④ Well, ...

⑤ I have a good idea! I will C.

⑥ That sounds nice!

(注) rule ルール

国語採点基準

【注意】この採点基準以外に問題がおこったときは、各学校で基準を設けて採点すること。

問題番号	正 答	【例】	採点上の注意			配 点
			結局	厚	縮	
1	① 結局 ② 厚 ③ 縮		結局もよい。	語として採点する。	各 1	16
			厚もよい。			
			縮もよい。			
2	夢に出てきた顔 (7字)		内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているもよい。	2	2	
3	屋根裏で仮面を作っていた。(13字)		内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているもよい。	2	2	
4	就職先を考える時も吉の身体のことを心配しているところや、吉を遠くに行かす下駄屋にさそうという父の言葉に賛成するところから、心配性な面のある母親として描かれていると考えられる。		問いを正しく捉え、明確な根拠を基に妥当な人物像を書いていれば、内容は異なっているもよい。	3	3	
5	① ウ ② 下駄を作る仕事を二十五年間続けてきたことで、下駄作りの技能が身に付いた職人になっている		内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているもよい。	4	2	
1	① めぐ ② ぼつとう ③ さわ		語として採点する。	各 1	15	
2	いたって地味だが、誰にも「あの画家はいい」といわしめる普遍的な「何か」を持ち合わせている (44字)		内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているもよい。	4	4	
3	ア			1	1	
4	エ			2	2	
5	小さな差異を生み出すことに価値を見いだし、研ぎ澄まされた感覚で、ひたむきに同じものを描き続けている (49字)		内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているもよい。	5	5	

問題番号	正 答	【例】	採点上の注意			配 点
			ア	イ	エ	
1	ア					2
2	父母がすっかり衰えてしまったこと。(17字)		内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているもよい。			2
3	え					1
						9
4	I II					2
			いつまでも若く、健康でいてほしい (16字)			2
四			私は、「疑問に対する追究」という題名がよいと考える。 なぜなら、中井さんがこの作文で最も伝えたいことが明確に伝わるからだ。中井さんは発明家になるという夢の実現のために、疑問に対して追究し続けるエジソンのような人になりたいたいの中心となっている。つまり、一番伝えたいことから中井さんの言葉は「追究」である。だから、中井さんの伝えたいことが端的に表現できているこの題名がよいと考える。			10
			〔問い〕を正しく捉え、次の①～③を満たしていれば、内容は異なっているもよい。 ① 二段落構成とし、第一段落は、題名の案を挙げて書き、第二段落には、その題名がよいと考えた理由を書いている。 ② 【作文】と【生徒の会話】の内容を踏まえて書いている。 ③ 200字以内で書いている。			

社会採点基準

【注意】この採点基準以外に問題がおこったときは、各学校で基準を設けて採点すること。

問題番号	正 答	採点上の注意	配点	
1	シラス台地		1	
	(1) 少ない労働力で効率よく生産できる。	内容を正しく捉えていられれば、表現は異なっていないもよい。	各 2	
	(2) 急な斜面に分布している			
	(1) ア, ウ	全部合っているものだけを正答とする。	2	
	(2) ナイロビは、コロンボよりも標高が高いため。			
4	商品作物の輸出による収入に頼る経済となっているため。	内容を正しく捉えていられれば、表現は異なっていないもよい。	3	
2	(1) ウ		1	
	(2) 唐や新羅が攻めてくる	内容を正しく捉えていられれば、表現は異なっていないもよい。	2	
	土一揆			
	3	A 株仲間に関税を納めさせる	内容を正しく捉えていられれば、表現は異なっていないもよい。	各 2
		B 営業を独占する		
4	第15回衆議院議員総選挙で選挙権が与えられ資格には、納税額による制限があったが、第16回では納税額による制限が廃止された。	内容を正しく捉えていられれば、表現は異なっていないもよい。	各 3	
5	当時は社会保障給付費が増え続けてきており、少子高齢化がさらに進むと推計されていることから、新たな財源が必要となったため。			

問題番号		正 答	採点上の注意	配点
1	a	良心	内容を正しく捉えていられれば、表現は異なっていないもよい。	1
	b	法律		
2	(1)	慎重に判断して、間違いをなくするため。	全部合っているものだけを正答とする。	1
	(2)	イ, ウ, エ		
3	(1)	記号 (AとB)	裁判の内容に国民の視点、感覚が反映された	1
		内容 (C)		
	(2)	裁判員を経験する前は裁判員制度に対する関心が低いが、実際に経験してみたらよかつたと感じている人が多くことから、裁判員経験者によかつたと感じた経験を話してもらおう講演会を開く。	内容を正しく捉えていられれば、表現は異なっていないもよい。	3
1	(1)	昼間は、通勤や通学のために、市内に入ってくる人よりも、市外へ出ていく人の方が多いため。	内容を正しく捉えていられれば、表現は異なっていないもよい。	2
		飛脚		
2	(2)	参勤交代において、中山道の宿場で宿泊や飲食などに多くのお金が使われることにより、中山道沿いの人々が大きな利益を得ることができたため。	内容を正しく捉えていられれば、表現は異なっていないもよい。	3
		有名な島崎藤村の出身地である中山道の馬籠宿を紹介して観光客を呼び、リニア中央新幹線の開業後は、東京に集まる多くの外国人にも来てもらい、古い町並みを歩いたり、そば打ちの体験をしたりしてもらう。この提案は、観光地で働く人々や特産品を生産する人々の収入を増加させる効果をもたせると考える。		
3	(1)		内容を正しく捉えていられれば、表現は異なっていないもよい。	1
4	(1)		内容を正しく捉えていられれば、表現は異なっていないもよい。	2
3	(1)		内容を正しく捉えていられれば、表現は異なっていないもよい。	6

数学採点基準

【注意】この採点基準以外に問題がおこったときは、各学校で基準を設けて採点すること。

問題番号	正 答	[例]	採点上の注意	配点
1	(1)	2		各 2
	(2)	$x - y$		
	(3)	$(x + 7)(x - 4)$		
	(4)	$9 + 2\sqrt{14}$		
	(5)	$x = \frac{-7 \pm \sqrt{33}}{8}$		
	(6)	②		
	(7)	3		
	(8)	$\frac{1}{12}$		
2	(1)	③		3
	(2)	線分 AF	線分を付けていない くてもよい。	3
	(3)	P地点からR地点までの道のりを x m, R地点からQ地点までの道のりを y m とすると, $\begin{cases} x + y = 5200 \\ \frac{x}{80} + \frac{y}{200} = 35 \end{cases}$ これを解くと, $x = 1200$, $y = 4000$ $x = 1200$, $y = 4000$ は問題に適している。 <u>P地点からR地点までの道のり 1200 m,</u> <u>R地点からQ地点までの道のり 4000 m</u>	内容を正しく捉えて いれば, 表現は異なっ ていてもよい。	4
3	(1)	90		3
	(2)	ア	0.29	全部合っているもの だけを正答とする。
		イ	0.17	
ウ	①			

問題番号	正 答	[例]	採点上の注意	配点
4	(1)	大きい方から1番目の数と大きい方から2番目の数の積から, 小さい方から1番目の数と小さい方から2番目の数の積を引いたときの差は, $(n+3)(n+2) - n(n+1)$ $= n^2 + 5n + 6 - n^2 - n$ $= 4n + 6$ 連続する4つの整数の和は, $n + (n+1) + (n+2) + (n+3)$ $= 4n + 6$	内容を正しく捉えて いれば, 表現は異なっ ていてもよい。	4
	(2)	小さい方から1番目の数と大きい方から1番目の数	問いを正しく捉えて いれば, 内容は異なっ ていてもよい。	3
5	(1)	$\triangle COE$ と $\triangle ODF$ において $CO = OD$ $\angle CEO = \angle OFD = 90^\circ$ 等しい弧に対する中心角は等しいから $\angle AOC = \angle BOD$ ②より, $\angle OCE = 90^\circ - \angle AOC$ $\angle AOB = 90^\circ$ であるから $\angle DOF = 90^\circ - \angle BOD$ ③, ④, ⑤より, $\angle OCE = \angle DOF$ ①, ②, ⑥より, 直角三角形の斜辺と1つの鋭角が それぞれ等しいから $\triangle COE \cong \triangle ODF$	小前提を省略したも のについては, 適宜減 点すること。	5
	(2)	10 - 2		各 3
6	(1)	10		6
	(2)	- 2		

理科採点基準

【注意】この採点基準以外に問題がおこったときは、各学校で基準を設けて採点すること。

問題番号	正答	採点上の注意	配点
1	小球の重さ		各 1
	0.5		
	仕事の量		
	0.1		
	エ		
2		9 もよい。	2
3	9.0		2
4		小球とレールとの間に働く摩擦力などにより、X点とY点の間で小球がもつエネルギーが失われるため。	3
	ア、エ、オ	全部合っているものだけを正答とする。	3
	1	流水で運ばれながら、岩石の角がけずられるため。	2
	2	エ	1
	3	気体が発生する。	2
2	4	イ、エ	2
		2つとも合っているものだけを正答とする。	2
	A 凝灰岩	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているものだけを正答とする。	各 1
	(1) B 火山灰		
	C 広い範囲		
	D 1	全部合っているものだけを正答とする。	~3
	(2) E 7		
F 7			

問題番号	正答	採点上の注意	配点	
3	1	(イ)	2	
		体の特徴と生物名がともに合っているものだけを正答とする。		
	2	(エ), (カ)	2	
		内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているものだけを正答とする。		
	3	(エ), (オ)	1	
	4	A 7	2つとも合っているものだけを正答とする。	2
		B エ		
		(1) C 1		
		D ウ		
		X 異なる		
5	(2) Y 同じである	2つとも合っているものだけを正答とする。	2	
	Z エ			
	(3) あたたくて浅い海であった。			
1	中和		1	
2	A 硫酸バリウム		各 1	
	B NaCl			
3	名称	2つとも合っているものだけを正答とする。	2	
	X 数			
	Y 種類			
4	記号	記号と理由がともに合っているものだけを正答とする。	2	
	理由			
	(1) 7			
	(2) 容器内の気体が、空気中に出ていくため。			
5	(1) 7	銅が、全て酸素と化合したため。もよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているものだけを正答とする。	2	
	(2) 一定量の銅に化合する酸素の質量には限界があるため。			
	(3) 0.20			

英語採点基準

【注意】この採点基準以外に問題がおこったときは、各学校で基準を設けて採点すること。

問題番号	正答	【例】	採点上の注意	配点
1	No.1	イ		各 2
	No.2	エ		
	No.3	ウ		
	No.4	ア		
問題B	I don't agree. I can study better with my friends because I can ask them questions when I have something I don't understand.		問いを正しく捉え、自分の考えとその理由が書かれていれば、内容は異なっていないでよい。	4
2	1	エ		各 2
	2	イ		
	3	we can call <i>ramen</i> Japanese food		
	(1)	Japanese restaurants		
	(2)	イ		
4	(3)	カ		各 1
	(4)	ア		
	(5)	エ		
5	I think <i>okonomiyaki</i> is good. Hiroshima is famous for <i>okonomiyaki</i> , so people joining the event will learn about the food culture of Hiroshima by eating <i>okonomiyaki</i> . (26語)		問いを正しく捉え、自分の考えとその理由を含めて書かれていれば、内容は異なっていないでよい。	4

問題番号	正答	【例】	採点上の注意	配点
1	(1)	She studied about problems in Africa.	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 2
	(2)	She opened it in Nigeria.		
2	people		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	2
3	ウ			各 2
4	え			
5	イ, ウ		全部合っているものだけを正答とする。	2
6	(1)	I think I need time.	問いを正しく捉え、自分の考えが書かれていれば、内容は異なっていないでよい。	2
	(2)	I have to think of some good ideas to create something new.		
A	was angry at me		問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていないでよい。	各 2
B	I was listening to music late at night without studying			
C	decide what time I start to study and what time I go to bed (14語)		問いを正しく捉え、自分の考えが書かれていれば、内容は異なっていないでよい。	2

英語聞き取り検査台本

(チャイム2点)

英語の検査を開始します。問題用紙の1ページを開きなさい。

1番の問題に入ります。

はじめに、1番の問題についての説明を行いますから、よく聞きなさい。

1番の問題には、問題Aと問題Bの2種類の問いがあります。まず問題Aについては、英語による対話を放送し、その内容について英語で質問をしますから、質問に対する答えとして最も適切なものを、問題用紙のA～Eの中から選んで、その記号を書きなさい。次に問題Bについては、問題Aが終了したあとに、英文を放送しますから、それに基づいてあなたの答えを英文で書きなさい。

対話、英文及び質問はすべて2回ずつ放送します。メモをとっても構いません。では、問題Aを始めます。

(チャイム1点)

問題A

これから、No.1～No.4まで、対話を4つ放送します。それぞれの対話を聞き、そのあとに続く質問の答えとして最も適切なものを、A～Eの中から選んで、その記号を書きなさい。

No.1

A: How was your birthday party, Nanako?

B: It was great, Tom. My mother made a cake for me. It was very good.

A: That's nice. What did you get for your birthday?

B: I got some flowers from my sister, and my brother gave me a cup.

A: I think you had a wonderful time.

B: Of course.

Question No.1: What did Nanako get from her sister?

No.2

A: We've just finished the English class. I enjoyed it very much.

B: What is the next class, Daiki? Is it P.E.?

A: No, Sarah. It's math. P.E. is in the afternoon. We'll play soccer today.

B: Sounds exciting.

Question No.2: Which schedule are Daiki and Sarah talking about?

No.3

A: Hello, Mr. Davis. Are you interested in playing table tennis?

B: Yes, but I've never played it. Is it fun, Momoka?

A: Yes. I'm in the table tennis club. Would you like to join us?

B: Sure. Where do you practice?

A: We practice in the school gym. We always practice from Tuesday to Friday.

B: OK. I'll join you this Friday.

Question No.3: How many days does the table tennis club practice in a week?

No.4

A: What will you do on Sunday, Emily?

B: I'll go to the library in the mornings, and after that I'll go to the park near our school.

A: What will you do in the park?

B: I'll do volunteer work with my friends. We'll clean the park. Will you join us, Ryoma?

A: I'd like to join, but I'm going to play baseball with my friends on Sunday.

B: Oh, I see. Maybe next time.

Question No.4: Why will Emily go to the park on Sunday?

もう1回くりかえします。

問題A

No.1

A: How was your birthday party, Nanako?

B: It was great, Tom. My mother made a cake for me. It was very good.

A: That's nice. What did you get for your birthday?

B: I got some flowers from my sister, and my brother gave me a cup.

A: I think you had a wonderful time.

B: Of course.

Question No.1: What did Nanako get from her sister?

No.2

A: We've just finished the English class. I enjoyed it very much.

B: What is the next class, Daiki? Is it P.E.?

A: No, Sarah. It's math. P.E. is in the afternoon. We'll play soccer today.

B: Sounds exciting.

Question No.2: Which schedule are Daiki and Sarah talking about?

No.3

A: Hello, Mr. Davis. Are you interested in playing table tennis?

B: Yes, but I've never played it. Is it fun, Momoka?

A: Yes. I'm in the table tennis club. Would you like to join us?

B: Sure. Where do you practice?

A: We practice in the school gym. We always practice from Tuesday to Friday.

B: OK. I'll join you this Friday.

Question No.3: How many days does the table tennis club practice in a week?

No.4

A: What will you do on Sunday, Emily?

B: I'll go to the library in the morning, and after that I'll go to the park near our school.

A: What will you do in the park?

B: I'll do volunteer work with my friends. We'll clean the park. Will you join us, Ryoma?

A: I'd like to join, but I'm going to play baseball with my friends on Sunday.

B: Oh, I see. Maybe next time.

Question No.4: Why will Emily go to the park on Sunday?

これで、問題Aを終わります。

次に問題Bに入ります。これから放送する英文は、英語の授業で、先生がクラスの生徒に対して話したときのもので、先生の質問に対して、あなたならどのように答えますか。あなたの答えを英文で書きなさい。なお、2文以上になっても構いません。

問題B

When I came to this classroom after school yesterday, I saw many students studying here with their friends for the next week's test. However, some people say that it is better to study without friends when they study for a test. What do you think about this idea? And why do you think so?

もう1回くりかえします。

問題B

When I came to this classroom after school yesterday, I saw many students studying here with their friends for the next week's test. However, some people say that it is better to study without friends when they study for a test. What do you think about this idea? And why do you think so?

これで、1番の問題の放送を全て終わります。

受検番号を問題用紙と解答用紙の両方に記入しなさい。この後は、2番以降の問題に進んでも構いません。

(チャイム1点)